

学修の手引き

第4学年 目次

第4学年履修の案内

学習評価規程	5
履修授業科目一覧	13
時間割	14

1 態度教育

コミュニケーションⅣ	21
------------	----

7 臨床系歯科医学教育

歯科矯正学	25
小児歯科学	32
障害者歯科学	37
高齢者歯科学・ 口腔リハビリテーション学	40
局部床義歯補綴学	45
口腔インプラント学	52
口腔外科学2	55
歯科麻酔学	59
審美歯科学	64
スポーツ医歯学	66

8 総合医学系教育

耳鼻咽喉科学	71
眼科学	73

【巻末資料】

第4学年学生参考図書目録	77
--------------	----

第 4 学年履修の案内

大阪歯科大学学業成績評価に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪歯科大学学則（以下「学則」という。）第34条第2項に定める成績評価方法に関して、必要な事項を定める。

(カリキュラム)

第2条 カリキュラムは、科目を主とする以下の11コースを基本構成とする。

- (1) 態度教育
- (2) 教養教育
- (3) 語学・情報科学教育
- (4) 基礎科学教育
- (5) 基礎系歯科医学教育
- (6) 社会系歯科医学教育
- (7) 臨床系歯科医学教育
- (8) 総合医学系教育
- (9) 第1～4学年歯科医学統合教育
- (10) 歯科臨床教育
- (11) 歯科医学統括教育

2 科目の単位については、1コマ70分授業の、7あるいは8コマを0.5単位、15コマを1単位とする。

3 各学年で修得しなければならない単位数は次の通り定め、詳細は【別表1】に示す。

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 第1学年（各科目）の単位数 | 47単位 |
| (2) 第2学年（各科目）の単位数 | 49単位 |
| (3) 第3学年（各科目）の単位数 | 50単位 |
| (4) 第4学年（各科目）の単位数 | 48単位 |
| (5) 第5学年（各科目）の単位数 | 40単位 |
| (6) 第6学年（各科目）の単位数 | 20単位 |

4 第2学年編入学生についての特例については、次の通り定める。

- (1) 学則第14条の2に該当する科目については単位を認定し、受講を免除する。
- (2) 第1学年科目のうち履修すべき科目については第2学年において履修するものとする。
 - ① 授業は放課後、夏季休暇等、第2学年と重複しないよう実施する。
 - ② 科目の評価は科目試験、小テスト、口頭試問、出席状況、受講態度、レポートなどを参考に総合的に判断する。

(出欠席)

第3条 履修科目のすべての授業に出席しなければならない。

2 交通機関の運休や気象警報の発令、感染症の罹患等により、止むを得ず欠席等する場合の措置は、「学生の通学が困難となる事由が発生した場合の授業等の取扱い規程」に定める。

3 遅刻、早退は、1回につき、3分の1コマの欠席に換算する。

(受験・評価のための資格)

第4条 受験・評価のための資格については次の通り定める。

- (1) 各学年のシラバスに記載された各科目の予定開講コマ数の80%以上の出席者に受験・評価のための資格を与える。80%に満たない者は受験失格とする。
- (2) 第1～3学年において、当該年度の受験失格科目を保有する者は総括試験の受験資格を与えない。
- (3) 態度教育については各科目で次の項目に基づいて受験・評価のための資格を与える。
 - ① 全出席を原則とする。
 - ② 試験、口頭試問、受講態度、レポートなどを参考に評価する。
- (4) 第4学年について、次の要件を全て満たす者に共用試験歯学系(CBT、OSCE)の受験・評価のための資格を与える。
 - ①各科目の全てが100点満点で65点以上であった者
 - ②CBT受験資格試験(4回)の総合得点が100点満点で65点以上であった者
※ただし、CBT受験資格試験(4回)の総合得点が65点未満の者のうち、教務部委員会が行う指導・評価で合格となった者も含む。
 - ③歯学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った教育における講義・実習の予定開講コマ数の80%以上出席し、スリップ帳等の要件を満たす者
- (5) 第4学年のOSCE不合格者のうち、次の①または②いずれかの条件を満たす者にOSCEの再受験・評価のための資格を与える。
 - ①CBT本試験の得点率が75%以上であった者
 - ②歯学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った教育における講義・実習の予定開講コマ数の90%以上出席し、かつ本学指定の特別試験をすべて受験した者
- (6) 歯科臨床教育については、臨床講義および総合講義は予定開講コマ数の80%以上出席し、臨床実習必携に示す当該科の評価基準に委ね、スリップ帳等の要件を満たし、臨床実習終了時試験および臨床知識試験の合格者に単位を与える。
- (7) 第6学年の歯科医学統括教育は総括講義からなる。
 - ① 歯科医学統括教育の予定開講コマ数の80%以上の出席者に学士試験2の受験・評価のための資格を与える。80%に満たない者は受験失格とする。
 - ② 前年度の原級止め学生は、前年度中に開講する「留年者基礎特別講義」の予定開講コマ数の80%以上の出席者に学士試験1－①の受験・評価のための資格を与える。80%に満たない者は受験失格とする。

(試験)

第5条 試験については次の通り定める。

- (1) 第1～第4学年履修科目の試験は、中間試験(0.5単位の科目については任意とする)と科目試験で構成される。
- (2) 試験は所定の試験期および各講座で適宜、行う。

- (3) 試験場には開始 5 分前には着席し、試験開始時間まで待機すること。
なお、試験開始時間後の入場および 15 分以内の退場は許可しない。
- (4) 科目試験は多肢選択問題、記述式問題および論述式問題で構成する。
- (5) 科目試験（本試験）の不合格者は、科目を担当する講座のオフィスアワーにおいて指導を受ける。
- (6) 第 1～第 3 学年においては、科目試験の実施後に総括試験を実施する。総括試験は多肢選択問題で構成される。
- (7) 科目試験および総括試験の再試験の回数は 1 回とする。
- (8) 科目試験、科目再試験、総括試験、総括再試験の欠席者の評価は 0 点とする。なお、疾病その他やむを得ない事情により試験に欠席し、公欠の承認を受けた者に対して追試験を 1 回実施する。
- (9) 第 5 学年で臨床実習終了時試験を行う。
- (10) 第 5 学年では、臨床知識試験を年 5 回行う。
- ① 臨床知識試験の前日までににおいて、臨床講義および総合講義の予定開講コマ数の 80% 以上の出席者に受験資格を与える。
 - ② 再試験の回数は 1 回とする。追試験は 1 回とする。なお追試験は再試験と同日に行う。
- (11) 第 6 学年に学士試験 1（学士試験 1-①、学士試験 1-②、学士試験 1-③）および学士試験 2 を実施する。
- ① 学士試験 1 の再試験は 1 回とする。追試験は 1 回とする。なお追試験は再試験と同日に行う。
 - ② 学士試験 2 の再試験は 1 回とする。追試験は 1 回とする。なお追試験は再試験と同日に行う。

（評価）

第 6 条 評価については次の通り定める。

- (1) 科目の評価は、科目試験、中間試験（評価については任意とする）、小テスト、口頭試問、出席状況、受講態度、レポートなどを参考に総合的に判断し、100 点満点で 65 点以上の者を合格とする。なお、80 点～100 点を「優」、70～79 点を「良」、65～69 点を「可」とする。
- (2) 第 1～3 学年の総括試験および総括再試験については、100 点満点で 65 点以上の者を合格とし、各科目の単位を認定する。ただし、総括試験または総括再試験に合格した者のうち、不合格科目を有する者は教務部委員会預かりとし、委員会で指導・評価を行う。全ての不合格科目について、委員会の実施する試験に合格した者には各科目の単位を認定する。
- (3) 共用試験歯学系（CBT、OSCE）が合格（合格基準は、100 点満点換算で CBT 70 点以上かつ OSCE 70 点以上とする）と認定された者に第 4 学年の各科目の単位を与える。なお、再試験についても同基準とする。
- (4) 第 5 学年においては臨床実習を完了して臨床実習終了時試験に合格し、臨床知識試験（5 回）の最終得点率が 65% 以上の者に歯科臨床教育の単位を与える。
- (5) 第 6 学年においては、学士試験 1 に合格した者に学士試験 2 の受験資格を与える。

(6) 第6学年においては、学士試験1本試験は3回行い、その平均得点率が必修問題で80%以上かつ必修以外の問題で(67%)以上を合格とする。学士試験1再試験は必修問題で80%以上かつ必修以外の問題で67%以上の得点率で合格とする。

学士試験2本試験は、必修問題の正解率80%以上かつ一般問題および臨床実地問題のそれぞれの得点率(72%)以上、または必修問題の得点率80%以上かつ領域別評価(領域A・領域B・領域C)においてそれぞれの偏差値が基準値以上を合格とする。学士試験2再試験は、必修問題の正解率80%以上かつ領域別評価(領域A・領域B・領域C)においてそれぞれの偏差値が基準値以上を合格とする。なお偏差値は当該年度の本学指定の模擬試験の成績により調整の上、定める。

学士試験2はすべての試験科目を受験することで評価を与える。

(7) 第6学年においては学士試験2に合格した者に歯科医学統括教育の単位を与える。

(8) 第1～第4学年の科目の再試験合格者の評価は65点とする。なお、それらの追試験合格者の満点は80点とする。

(9) 追再試験欠席者の評価は0点とする。

(10) 臨床実習は、各科の評価項目に沿って評価し、本規程第9条第2項に示す基準を満たした者を合格とし、単位を認定する。

(進級基準)

第7条 進級基準は、次の通り定める。

(1) 第2、第3、第4学年にそれぞれ進級できる者は各科目すべてに合格し、当該学年の総括試験に合格した者とする。ただし、65点未満の科目を有する者で、委員会の実施する試験に合格した者も含める。

(2) 第5学年に進級できる者は第4学年のすべての科目に合格し、共用試験歯学系(CBT、OSCE)に合格した者とする。

(3) 第6学年に進級できる者は歯科臨床教育の単位を修得した者とする。

(登院資格)

第8条 共用試験歯学系(CBT、OSCE)の合格者に登院資格を与える。

(歯科臨床教育)

第9条 歯科臨床教育における自験必須項目は、次の通り定める。

- ・ 医療面接
- ・ 診療録の作成
- ・ バイタルサイン
- ・ 口内法エックス線撮影
- ・ コンポジットレジン修復
- ・ 感染根管治療
- ・ プラークコントロール指導
- ・ スケーリング・ルートプレーニング

- ・クラウンブリッジ
- ・部分床義歯・全部床義歯
- ・抜歯（永久歯）
- ・予防・指導

2 第1項の自験必須項目および各科で設定の項目について、次の通り評価する。

評価をA（完全にできる）

B（できる）

C（できない）とする。

評価A、Bが合格、Cは不合格とする。

また臨床実習終了時試験を行い、65点以上を合格とする。

3 不合格者に対しては再試験を行う。

（留年者の取り扱い）

第10条 留年者の取り扱いについては、次の通り定める。

- (1) 各学年において、1科目以上の受験・評価失格者、総括試験または第4学年における共用試験歯学系の不合格者は、原級に留め、すべての科目を再履修する。
- (2) 委員会預かりで教育・評価の結果が不合格の者は原級に留め、すべての科目を再履修する。
- (3) 第1学年の留年者で、新入生研修、早期臨床体験学習、社会福祉施設体験学習、基礎学力充実科目、情報科学、物理学・化学・生物学実験の各科目試験に合格している場合は、これらの科目の再履修は免除する。

（卒業の認定・学位の授与）

第11条 次の要件を満たす者には卒業資格および学位授与資格を与え、卒業証書・学位記を授与する。

- (1) 総括講義の出席条件を満たす者（受講しなければならない講義数の80%以上出席を要件）
- (2) 本学が指定する3回の特別試験すべての受験者
- (3) 学士試験2の合格者
- (4) 本学に6年以上（編入生は5年以上）在学して254単位を修得、学士試験に合格し、2月に開催する報告会に出席して歯科医師国家試験の自己解答を提出した者

附 則

この規程は、平成27年3月26日より施行する。

この規程は、平成28年3月24日より改正した。

この規程は、平成29年3月16日より改正した。

【別表 1】

学年	コース	科目	単位数
第 1 学年			4 7
	態度教育	コミュニケーション I 1 人権論 1 歯学概論 I 1 歯学概論 II 3 現代教養 3 新入生研修 0.5 早期臨床体験 1.5 社会福祉体験学習 2	1 3
	教養教育	文章表現 2 倫理学 1 法学 1 社会学 1 心理学 1 美術 1	7
	語学・情報科学 教育	英語 I 2 英語 II 2 ドイツ語 2 情報科学 2	8
	基礎科学教育	物理学 2 物理学実験 1 化学 3 化学実験 1 生物学 3 生物学実験 1 数学 2 基礎学力充実科目 1	1 4
	基礎系 歯科医 学教育	発生学 1 解剖学 I 2	3
	歯科医学統合 教育	英語 I、英語 II、物理学、化学、生物学、発生学、解剖学 I、歯学概論 I	2
第 2 学年			4 9
	態度教育	コミュニケーション II 1	1
	基礎系 歯科医 学教育	歯学英语 1 解剖学 II 5.5 組織学 2 口腔解剖学 4 口腔組織学 3 生理学 3 口腔生理学 2 生化学 2 口腔生化学 2 病理学 2.5 口腔病理学 4 細菌学 3 口腔細菌学 2 歯科薬理学 4 歯科理工学 5	4 5
	歯科医学統合 教育	歯学英语、解剖学 II、組織学、口腔解剖学、口腔組織学、 生理学、口腔生理学、生化学、口腔生化学、病理学、口腔 病理学、細菌学、口腔細菌学、歯科薬理学、歯科理工学	3

学年	コース	科目	単位数
第3学年			50
	態度教育	コミュニケーションⅢ…………… 1 ゼミナール／研究チャレンジ…………… 2	3
	語学・情報科学 教育	臨床歯科医学情報科学…………… 1	1
	社会系歯科医 学教育	法医学・法歯学…………… 1 医療統計学…………… 1 衛生学・公衆衛生学…………… 1.5 医療倫理学・医事法学…………… 1 社会歯科学・口腔衛生学…………… 2 歯科医療（安全）管理学…………… 1 歯科栄養学…………… 0.5	8
	臨床系歯科医 学教育	保存修復学…………… 4 歯内治療学…………… 3 歯周病学…………… 3 クラウンブリッジ補綴学…………… 10 総義歯補綴学…………… 5 口腔外科学1…………… 2 歯科放射線学…………… 3 歯科心身医学・口腔内科学…………… 0.5 歯科東洋医学…………… 0.5	31
	総合医学系教 育	内科学…………… 2 外科学…………… 0.5 小児科学…………… 0.5 精神科学…………… 0.5 皮膚科学…………… 0.5	4
	歯科医学統合 教育	臨床歯科医学情報科学、衛生学・公衆衛生学、医療倫理学・ 医事法学、社会歯科学・口腔衛生学、歯科医療（安全） 管理学、歯科栄養学、保存修復学、歯内治療学、歯周病学、 クラウンブリッジ補綴学、総義歯補綴学、口腔外科学1、 歯科放射線学、歯科心身医学・口腔内科学、内科学	3
第4学年			48
	態度教育	コミュニケーションⅣ…………… 1	1
	臨床系歯科医 学教育	歯科矯正学…………… 4 小児歯科学…………… 3 障害者歯科学…………… 1 高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学…………… 3 局部床義歯学…………… 5 口腔インプラント学…………… 2 口腔外科学2…………… 2 歯科麻酔学…………… 3 審美歯科学…………… 0.5 スポーツ医歯学…………… 0.5	24
	総合医学系教 育	耳鼻咽喉科学…………… 0.5 眼科学…………… 0.5	1
	歯科医学統合 教育	コアカリに沿った講義Ⅰ～Ⅲ・実習…………… 22	22
第5学年			40
	歯科臨床教育	臨床実習、臨床講義、総合講義	40
第6学年			20
		歯科医学統括教育	20

平成29年度 第4学年履修授業科目一覧

コース	コース責任者	授業科目名	講義コマ数	試験コマ数	単位	科目責任者
1 態度教育	教務部長	コミュニケーションⅣ (ホームルーム、ODUソーシャルコミュニ ティ)	14	-	1	教務部長、学生部長
1態度教育 計			14		1	
7 臨床系 歯科医学 教育	第4学年指導 教授	歯科矯正学	59	1	4	歯科矯正学講座 松本 尚之
		小児歯科学	44	1	3	小児歯科学講座 有田 憲司
		障害者歯科学	14	1	1	障がい者歯科 中嶋 正博
		高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学	44	1	3	高齢者歯科学講座
		局部床義歯補綴学	74	1	5	欠損歯列補綴咬合学講座 岡崎 定司
		口腔インプラント学	29	1	2	口腔インプラント学講座 馬場 俊輔
		口腔外科学2	29	1	2	口腔外科学第二講座 中嶋 正博
		歯科麻酔学	44	1	3	歯科麻酔学講座 百田 義弘
		審美歯科学	8	1	0.5	歯科審美学室 末瀬 一彦
		スポーツ医歯学	7	1	0.5	有歯補綴咬合学講座 田中 昌博
7 臨床系歯科医学教育 計			352	10	24	
8総合 医学系 教育	第4学年指導 教授	耳鼻咽喉科学	8	1	0.5	耳鼻咽喉科 馬場 一泰
		眼科学	7	1	0.5	眼科 岸本 直子
8 総合医学系教育 計			15	2	1	
9歯科 医学統 合教育	教務部長	コアカリに沿った講義Ⅰ	45	-	3	学年指導教授
		コアカリに沿った講義Ⅱ	180	-	12	学年指導教授
		コアカリに沿った講義Ⅲ	60	-	4	学年指導教授
		コアカリに沿った実習	45	-	3	学年指導教授
9 歯科医学総括教育 計			45		22	
			723		48	

平成29年度(2017) 第4学年 授業時間割(前期)

2017年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
8:10 ~ 8:40	清掃 ボランティア			4 化学 27, 122	9 物理 32, 127		14 教育 37, 132			予備1 歯周	23 外2 46, 141	28 インプ 51, 146	33 解剖 56, 151	37 細菌 60, 155	42 人権 65, 160	
午前	1	0900~1010 1025~1135	歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 (原波) 4大	歯科矯正 (原波) 4大	HR 5	歯科矯正 (原波) 4大	歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 小テスト 4大	歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 (松本) 4大		
	2		歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (原波) 4大	歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (松本) 4大	歯科矯正 (松本) 4大								
		3月27日	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日	
午後	3	1235~1345 1400~1510 1525~1635	障害者歯科 (中嶋) 4大	障害者歯科 (中嶋) 4大	障害者歯科 (伊達岡) 4大	障害者歯科 (伊達岡) 4大	障害者歯科 (伊達岡) 4大	障害者歯科 (中嶋) 4大	障害者歯科 (中嶋) 4大	障害者歯科 (中嶋) 4大	障害者歯科 (伊達岡) 4大	障害者歯科 (百田) 4大	障害者歯科 (有田) 4大	障害者歯科 (有田) 4大	障害者歯科 (有田) 4大	
	4		小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 中間試験① 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大	
	5		小児歯科 (有田) 4大	小児歯科 (有田) 4大												
8:10 ~ 8:40	清掃 ボランティア			5 解剖 28, 123	10 細菌 33, 128		15 人権 38, 133			19 高齢 42, 137	24 矯正 47, 142	29 英語 52, 147	34 口解 57, 152	38 薬理 61, 156	43 法歯 66, 161	
午前	1		歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 (原波) 4大	歯科矯正 実習 7実											
	2		歯科矯正 (西浦) 4大	歯科矯正 (原波) 4大												
		3月28日	4月4日	4月11日	4月18日	4月25日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	
午後	3		高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (小野) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション 全体実習 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション 個別実習 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション 個別実習 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション 個別実習 4大	高齢者歯科・ リハビリテーション 個別実習 4大	
	4		高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	7実	6実	6実	6実	6実								
	5		高齢者歯科・ リハビリテーション (高橋) 4大	7実	9実	9実	9実									
8:10 ~ 8:40	清掃 ボランティア			1 英語 24, 119	6 口解 29, 124	11 薬理 34, 129	16 法歯 39, 134			20 有歯 43, 138	25 放線 48, 143	30 物理 53, 148	35 生理 58, 153	39 理工 62, 157	44 保存 67, 162	
午前	1		HR 34 CBT7レハト	コアカリ 4大	コアカリ 4大	憲法記念日	コアカリ 4大	コアカリ 4大	コアカリ 4大	コアカリ 4大	HR 6 4大	コアカリ 4大	コアカリ 4大	コアカリ 4大	コアカリ 4大	
	2		コアカリ 4大	コアカリ 4大		コアカリ 4大	コアカリ 4大									
		3月29日	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月3日	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	
午後	3		口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	拳法記念日	口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (馬場) 4大	口腔インプラント 実習 4大	口腔インプラント 実習 4大	口腔インプラント 実習 4大	口腔インプラント 実習 4大	口腔インプラント 実習 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	
	4		口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大		口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (李・柏木) 4大	口腔インプラント (馬場) 4大	PO室	8実	8実	8実	8実	口腔インプラント (李・柏木) 4大	
	5									[5・6時限目] 耳鼻咽喉科 4大			[5・6時限目] 耳鼻咽喉科 4大		[5・6時限目] 耳鼻咽喉科 4大	
8:10 ~ 8:40	清掃 ボランティア			2 物理 25, 120	7 生理 30, 125	12 理工 35, 130	17 保存 40, 135			21 欠損 44, 139	26 小歯 49, 144	31 生物 54, 149	4 4大	36 生化 59, 154	40 衛生 63, 158	45 口治 68, 163
午前	1		局部床義歯補綴 (岡崎) 4大	局部床義歯補綴 (吉峰) 4大	局部床義歯補綴 (西崎) 4大	みどりの日	局部床義歯補綴 (兼平) 4大	局部床義歯補綴 (西崎) 4大	局部床義歯補綴 (吉峰) 4大	局部床義歯補綴 (山本) 4大	局部床義歯補綴 (岡崎) 4大	局部床義歯補綴 (岡崎) 4大	局部床義歯補綴 (吉峰) 4大	局部床義歯補綴 (山本) 4大		
	2		局部床義歯補綴 (岡崎) 4大	局部床義歯補綴 (吉峰) 4大	局部床義歯補綴 (西崎) 4大		局部床義歯補綴 (山本) 4大	局部床義歯補綴 (西崎) 4大	局部床義歯補綴 (山本) 4大	局部床義歯補綴 実習 8実	局部床義歯補綴 実習 8実	局部床義歯補綴 実習 8実	局部床義歯補綴 実習 8実	局部床義歯補綴 実習 8実	局部床義歯補綴 実習 8実	
		3月30日	4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日	6月29日	
午後	3		局部床義歯補綴 (西崎) 4大	局部床義歯補綴 (西崎) 4大	局部床義歯補綴 実習 4大	みどりの日	局部床義歯補綴 実習 8実									
	4		局部床義歯補綴 (兼平) 4大	局部床義歯補綴 実習 8実												
	5		局部床義歯補綴 (西崎) 4大													
8:10 ~ 8:40	清掃 ボランティア			3 生物 26, 121	8 生 31, 126	13 衛生 36, 131	18 口治 41, 136			22 外1 45, 140	27 麻酔 50, 145	32 化学 55, 150	予備2 病理	41 教育 64, 159	46 歯周 69, 164	
午前	1	オリエンテーション 4大、PC	口腔外科2 (中嶋) 4大	口腔外科2 (中嶋) 4大	口腔外科2 (中嶋) 4大	こどもの日	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (吉本) 4大	口腔外科2 (大西) 4大							
	2		口腔外科2 (栗田) 4大	口腔外科2 (中嶋) 4大	口腔外科2 (大西) 4大		口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (吉本) 4大	健康診断 (胸部X線) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	口腔外科2 (大西) 4大	
		3月31日	4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月5日	5月12日	5月19日	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	
午後	3		歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大	こどもの日	歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (大下) 4大	健康診断	歯科麻酔 (大下) 4大	歯科麻酔 (佐久間) 4大	歯科麻酔 (佐久間) 4大	4大	歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大	
	4		歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大		歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (大下) 4大		歯科麻酔 (大下) 4大	歯科麻酔 (佐久間) 4大	1号館3階 大会議室	歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大		
	5		歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (百田) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大		歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (大下) 4大		歯科麻酔 (大下) 4大	歯科麻酔 (佐久間) 4大	歯科麻酔 (佐久間) 4大		歯科麻酔 (加藤) 4大	歯科麻酔 (加藤) 4大	

平成29年度(2017) 第4学年 授業時間割(後期)

平成29年度(2017)												2018年			
時間	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
8:10~8:40	64 病理 87, 182, 188	69 教育 2, 97		75 有歯 8, 103	80 放線 13, 108	85 解剖 18, 113	88 人権 21, 116	予備5 インプ							
午前	1 コアカリ	1 コアカリ	後片付け	HR 11 4大 コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ					成人の日	コアカリ		
2	4大 コアカリ	4大 コアカリ		4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ						4大 コアカリ		
月	10月16日 コアカリ	10月23日 コアカリ	10月30日	11月6日 コアカリ	11月13日 コアカリ	11月20日 コアカリ	11月27日 コアカリ	12月4日	12月11日	12月18日	12月25日	1月1日	1月8日	1月15日	
午後	3 コアカリ	3 コアカリ	後片付け	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	小児歯科 科目試験 3.4小	障害者歯科 再試験 3.4小	小児歯科 再試験 3.4小		成人の日	コアカリ実習		
4	4大 コアカリ	4大 コアカリ		4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ								
5	4大 コアカリ	4大 コアカリ		4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ								
火	8:10~8:40 65 細菌 88, 183, 189	70 人権 3, 98	予備4 口治	76 欠損 9, 104	81 小歯 14, 109	86 口解 19, 114	89 有歯 22, 117								
午前	1 コアカリ	1 コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ			CBT実力試験 ③		CBT実力試験 ④	コアカリ		
2	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ			PCLL		PCLL	4大 コアカリ		
月	10月17日 コアカリ	10月24日 コアカリ	10月31日	11月7日 コアカリ	11月14日 コアカリ	11月21日 コアカリ	11月28日 コアカリ	12月5日	12月12日	12月19日	12月26日	1月2日	1月9日	1月16日	
午後	3 コアカリ	3 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	審美歯科 科目試験 1-3小	インプラント 再試験 1.2小	CBT実力試験 ③		CBT実力試験 ④	コアカリ実習		
4	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ			PCLL		PCLL			
5	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ								
水	8:10~8:40 66 薬理 90, 185	71 法歯 4, 99	73 歯周 6, 101	77 外1 10, 105	82 麻酔 15, 110										
午前	1 コアカリ	1 コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ					コアカリ	コアカリ		
2	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ					4大 コアカリ	4大 コアカリ		
月	10月18日 コアカリ	10月25日 コアカリ	11月1日	11月8日 コアカリ	11月15日 コアカリ	11月22日 コアカリ	11月29日 コアカリ	12月6日	12月13日	12月20日	12月27日	1月3日	1月10日	1月17日	
午後	3 コアカリ	3 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	眼科 科目試験 1-3小	耳鼻科 再試験 1.2小	スポーツ歯 再試験 1.2小		4大 コアカリ	コアカリ実習		
4	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ					4大 コアカリ			
5	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ								
木	8:10~8:40 67 理工 89, 184, 190	72 保存 5, 100	74 高齢 7, 102	78 外2 11, 106	83 インプ 16, 111		90 麻酔 23, 118								
午前	1 コアカリ	1 コアカリ	コアカリ	コアカリ	コアカリ		コアカリ					コアカリ	コアカリ		
2	小児歯科 実習 7実	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ		4大 コアカリ					4大 コアカリ	4大 コアカリ		
月	10月19日 コアカリ	10月26日 コアカリ	11月2日	11月9日 コアカリ	11月16日 コアカリ	11月23日	11月30日 コアカリ	12月7日	12月14日	12月21日	12月28日	1月4日	1月11日	1月18日	
午後	3 コアカリ	3 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	労働感謝の日	4大 コアカリ	スポーツ歯 科目試験 1-3小	歯科麻酔 再試験 1.2小	局部歯 再試験 1.2小		4大 コアカリ	コアカリ実習		
4	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ		HR 12 4大			眼科 再試験 1.2小		4大 コアカリ			
5	眼科 4大	眼科 4大	眼科 4大	眼科 4大	コアカリ 予備日										
金	8:10~8:40 68 衛生 1, 96			79 矯正 12, 107	84 物理 17, 112	87 教育 20, 115									
午前	1 コアカリ	文化祭準備	文化の日	スポーツ歯 歯 4大	スポーツ歯 歯 4大	スポーツ歯 歯 4大						センター試験 のため休講	講義予備日		
2	スポーツ歯 歯 4大			スポーツ歯 歯 4大	スポーツ歯 歯 4大	スポーツ歯 歯 4大				高齢・リハビリ 再試験 1.2小			講義予備日		
月	10月20日 コアカリ	10月27日	11月3日	11月10日 コアカリ	11月17日 コアカリ	11月24日 コアカリ	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	12月29日	1月5日	1月12日	1月19日	
午後	3 コアカリ	文化祭準備	文化の日	4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ		口外2 再試験 1.2小	歯科矯正 再試験 1.2小	審美歯科 再試験 1.2小		センター試験 のため休講	センター試験 予備日のため 休講		
4	4大 コアカリ			4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ									
5	4大 コアカリ			4大 コアカリ	4大 コアカリ	4大 コアカリ									

1 態度教育

コミュニケーションⅣ

コース名	1 態度教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	コミュニケーションⅣ				
科目責任者	学長、教務部長、学生部長				
科目分担者	第4学年指導教授、第4学年助言教員				
単 位	1単位	授業コマ数	14	試験コマ数	-
一般目標 (G10)	臨床実習開始前までに身に付けておくべき必須の実践的能力（知識・技能・態度）のそれぞれの到達目標について、必要な学習方法を理解し研鑽することを目的とする。				

評 価 法 (EV)	出席および受講態度から総合的に評価する。
	また、「ODUソーシャルコミュニティ」の評価基準は下記の通り。 1. すべて出席（遅刻や欠席した場合、予備日に振替実施） 2. 参加態度 3. 社会人基礎力診断（経済産業省）の実施

ホームルーム<13回>

回 月日(曜) 時限	内 容	担当者	場所
1・2回 2017/ 4/7(金) ①②	履修指導 コアカリ履修のためのガイダンス CBT 試験ソフトの実践学習 ① 単問形式	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室 PC教室
3・4回 4/12(水) ①②	CBT プレテスト コアカリ講義・実習についての実践的ガイダンス	第4学年指導教授 助言教員	PC教室 LL教室
5回 5/8(月) ①	4年履修の専門科目についてのアプローチ方法①	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
6回 5/31(水) ①	コアカリ講義・実習について 進捗状況の個別確認①	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
7・8回 7/12(水) ①②	コアカリ履修のためのガイダンス CBT 試験ソフトの実践学習① 単問形式 ② 連問形式	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室 PC教室 LL教室
9回 8/31(木) ①	4年履修の専門科目についてのアプローチ方法②	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
10回 10/6(金) ①	コアカリ講義・実習について 進捗状況の個別確認②	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
11回 11/6(月) ①	コアカリ講義・実習について 進捗状況の個別確認③	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
12回 11/30(木) ④	コアカリ講義・実習について 進捗状況の個別確認④	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室
12回 2018/ 2/16(金) ③	4年履修の専門科目について 履修科目の総括①	第4学年指導教授 助言教員	第4大講義室

コミュニケーションⅣ

ODU ソーシャルコミュニティ<各学生年間1回ずつ参加>

回 月日(曜) 時限	内 容		場 所
各学年 オリエン テーション	実施概要説明	<ul style="list-style-type: none"> ・学生部長から学習のねらいを説明 ・担当日を学生に通知 	第4 大講義室
第1~4学年 100日 毎朝	清掃活動	<p style="text-align: center;">8:00 副門に集合 8:10~8:40 清掃活動 各学年1~2名、計6~8名(年間1回) 教員1名が付添</p>	<p>環境美化事業「枚方市アダプトプログラム」に登録して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉学舎の周辺歩道での雑草・空き缶・吸い殻・落ち葉などの散乱ゴミの清掃・集積 ・通行人との挨拶 <p style="text-align: right;">楠葉学舎周辺の歩道</p>
服 装	作業に適した服装		

7 臨床系齒科醫學教育

歯科矯正学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	歯科矯正学				
科目責任者	松本 尚之（歯科矯正学講座）				
科目分担者	西浦亜紀、飯田拓二、居波 薫、有馬良幸、安井憲一郎、安積瑛子、細山有規子（歯科矯正学講座）				
単 位	4単位	授業コマ数	59	試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	学習者が不正咬合の患者について、その病因、病態を知り、診査・検査と 診断法、矯正治療法、術後の評価法が理解できる。				

評価法 (EV)	科目試験 (65 点以上)、中間テスト (65 点以上)、出席状況、授業態度などで総合的に判定する。
----------	--

オフィスアワー	[楠葉]月曜 17 時～18 時 担当：松本 [天満]水曜 17 時～18 時 担当：西浦、飯田、居波、有馬、安井 (注)上記曜日・時間以外の質問は、内線 4471 で予約のこと。
---------	--

	書 名	著者名 等	発 行 所
教 科 書	歯科矯正学 第五版	相馬邦道 他	医師薬出版
	新しい歯科矯正学 改訂版	松本尚之 他	永末書店
参 考 図 書	新版 プロフィットの現代歯科矯正学	William R. Proffit	クインテッセンス
	現代外科的矯正治療の理論と実際	菅原準二 他	菅原準二 他
	カラーアトラス X線解剖学とセファロ分析法	宮下邦彦	クインテッセンス
	イラストで覚える歯科矯正学	栗原三郎	MDD 出版会
	矯正装置の製作ガイド -基礎知識と技工-	北總征男 他	医歯薬出版

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
1 回 (講義 1 回) 4/10(月) ①	概論 成長発育	1. 矯正治療の目的や意義を説明できる。 2. 成長発育の概念を理解できる。	講義 黒板 第 4 大講義室	松本	E-4-1)-① E-2-3)-③, ④ ----- 必修 7-4, a, b 必修 17-7 総論 V 4 各論 II-7
2 回 (講義 2 回) 4/10(月) ②	成長発育 概論 顔面頭蓋の 成長発育	1. 顎顔面の成長発育を理解できる。 2. 混合歯列期の成長発育を説明できる。 3. 永久歯列期の成長発育を説明できる。	講義 黒板 第 4 大講義室	松本	E-2-3)-③, ④ E-4-1)-① ----- 必修 7-4, a, b 必修 17-7 総論 V 4 各論 II-7
3 回 (講義 3 回) 4/11(火) ①	不正咬合の 原因	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 歯・歯列・咬合の異常を説明できる。	講義 黒板 第 4 大講義室	西浦	E-2-4)-(1)-①, ② E-4-1)-②, ③, ④ ----- 各論 I-3 各論 II-7, 8
4 回 (講義 4 回) 4/11(火) ②	不正咬合の 原因	1. 歯・歯列・咬合の異常を説明できる。 2. 不正咬合の分類を説明できる。	講義 黒板 第 4 大講義室	西浦	E-2-4)-(1)-①, ② E-4-1)-②, ③, ④ ----- 各論 I-3 各論 II-7, 8

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
5回 (講義5回) 4/17(月) ①	不正咬合の 原因	1. 不正咬合の先天的原因を説明できる。 2. 不正咬合の後天的原因を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	西浦	E-2-4)-(1)-①, ② E-4-1)-(②, ③, ④ ----- 各論 I-3 各論 II-7, 8
6回 (講義6回) 4/17(月) ②	不正咬合の 原因	1. 歯・歯列・咬合の異常を説明できる。 2. 不正咬合の分類を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	西浦	E-2-4)-(1)-①, ② E-4-1)-(②, ③, ④ ----- 各論 I-3 各論 II-7, 8
7回 (講義7回) 4/18(火) ①	矯正治療に 伴う生体反応	1. 矯正力に対する歯、歯周組織の反応を理解する。 2. 矯正力に対する顎骨の反応を理解する。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(⑦, ⑧ ----- 各論 II-9
8回 (講義8回) 4/18(火) ②	検査と分析	1. 診断に必要な検査を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(④ ----- 必修 10-キ 総論 IX-1-カ 総論 IX-2-ケ, コ, サ 各論 II-8
9回 (講義9回) 4/24(月) ①	頭部X線 規格写真 分析	1. 頭部X線規写真分析を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(④ ----- 総論 IX 2-イ, ケ, コ, サ 各論 II-8
10回 (講義10回) 4/24(月) ②	頭部X線 規格写真 分析	1. 頭部X線規写真分析を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(④ ----- 総論 IX 2-イ, ケ, コ, サ 各論 II-8
11回 (実1回) 4/25(火) ①	セファロ 分析	1. セファロトレーシングができる。 2. セファロ計測ができる。 3. セファロ分析ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-(②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10, 11
12回 (実2回) 4/25(火) ②	セファロ 分析	1. セファロトレーシングができる。 2. セファロ計測ができる。 3. セファロ分析ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-(②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10, 11
13回 (講義11回) 5/1(月) ①	矯正治療に おける抜歯	1. 抜歯の意義を理解できる。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(④ ----- 各論 II-8-ウ
14回 (講義12回) 5/1(月) ②	矯正治療学 概論	1. 矯正治療の種類を説明できる。	講義 黑板 第4大講義室	居波	E-4-1)-(① ----- 各論 II-11-7, イ, ウ
15回 (実3回) 5/2(火) ①	基本的手技 の習得	1. 線屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-(⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
16回 (実4回) 5/2(火) ②	基本的手技 の習得	1. 線屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
17回 (講義13回) 5/8(月) ②	矯正力	1. 矯正力の種類と大きさを説明できる。 2. 矯正力の作用様式を説明できる。 3. 歯の移動様式を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	居波	E-4-1)-⑦, ⑧ ----- 各論 II-9
18回 (実5回) 5/9(火) ①	基本的手技 の習得	1. 線屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
19回 (実6回) 5/9(火) ②	基本的手技 の習得	1. 線屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
20回 (講義14回) 5/15(月) ①	矯正力	1. 矯正力の種類と大きさを説明できる。 2. 矯正力の作用様式を説明できる。 3. 歯の移動様式を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	居波	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-9, 10, 11
21回 (講義15回) 5/15(月) ②	矯正歯科治 療における 固定	1. 固定の種類を説明できる	講義 黒板 第4大講義室	居波	E-4-1)-⑦ ----- 各論 II-9-I
22回 (実7回) 5/16(火) ①	基本的手技 の習得	1. 自在鑑着ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤, ⑥ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
23回 (実8回) 5/16(火) ②	基本的手技 の習得	1. 自在鑑着ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤, ⑥ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
24回 (講義16回) 5/22(月) ①	矯正用材料 の特性	1. 矯正用材料の具備すべき条件を説明できる。 2. 矯正用材料の種類を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-4-1)-⑥ ----- 総論 XI-15
25回 (講義17回) 5/22(月) ②	装置の種類 器具・材料の 種類	1. 装置の構造を説明できる。 2. 装置の用い方を説明できる。 3. 矯正装置を図解できる。 4. 矯正用材料・器具を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
26回 (実9回) 5/23(火) ①	基本的手技 の習得	1. 自在鑑着ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤, ⑥ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
27回 (実10回) 5/23(火) ②	基本的手技 の習得	1. 自在鑑着ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤, ⑥ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
28回 (講義18回) 5/29(月) ①	装置の種類 器具・材料の 種類	1. 装置の構造を説明できる。 2. 装置の用い方を説明できる。 3. 矯正装置を図解できる。 4. 矯正用材料・器具を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11
29回 (講義19回) 5/29(月) ②	装置の種類 器具・材料の 種類	1. 装置の構造を説明できる。 2. 装置の用い方を説明できる。 3. 矯正装置を図解できる。 4. 矯正用材料・器具を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11
30回 (実11回) 5/30(火) ①	トランスパ ラタルアー チの製作	1. バンドを装着できる。 2. バンドにシースを鑑着できる。 3. トランスパラタルアーチを作製できる。 4. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-9,10,11
31回 (実12回) 5/30(火) ②	トランスパ ラタルアー チの製作	1. バンドを装着できる。 2. バンドにシースを鑑着できる。 3. トランスパラタルアーチを作製できる。 4. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-9,10,11
32回 (講義20回) 6/5(月) ①	小テスト		講義 黒板 第4大講義室	松本	-----
33回 (講義21回) 6/5(月) ②	症例の分析 治療学	1. 症例を的確に分析できる。 2. 治療目標を立案することができる。 3. 治療開始時期を説明できる。 4. 治療の進め方を解説できる。 5. 口唇・口蓋裂を概説できる。 6. 顎変形症を概説できる。	講義 黒板 第4大講義室	松本	E-2-4)-(1)-③ E-4-1)-④~⑨ ----- 各論 II-1,8, 10,11 各論 IV-1-7 各論 IV-7-7 各論 IV-15
34回 (実13回) 6/6(火) ①	舌側弧線装 置の作成(1)	1. バンドを装着できる。 2. 作業用模型を作製できる。 3. バンドにSTロックを鑑着できる。 4. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11
35回 (実14回) 6/6(火) ②	舌側弧線装 置の作成(1)	1. バンドを装着できる。 2. 作業用模型を作製できる。 3. バンドにSTロックを鑑着できる。 4. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11
36回 (講義22回) 6/12(月) ①	症例の分析 治療学	1. 症例を的確に分析できる。 2. 治療目標を立案することができる。 3. 治療開始時期を説明できる。 4. 治療の進め方を解説できる。 5. 口唇・口蓋裂を概説できる。 6. 顎変形症を概説できる。	講義 黒板 第4大講義室	松本	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11
37回 (講義23回) 6/12(月) ②	症例の分析 治療学	1. 症例を的確に分析できる。 2. 治療目標を立案することができる。 3. 治療開始時期を説明できる。 4. 治療の進め方を解説できる。 5. 口唇・口蓋裂を概説できる。 6. 顎変形症を概説できる。	講義 黒板 第4大講義室	松本	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10,11

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
38回 (実15回) 6/13(火) ①	舌側弧線装置の作成(2)	1. 主線を屈曲できる。 2. 弾線を屈曲できる。 3. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
39回 (実16回) 6/13(火) ②	舌側弧線装置の作成(2)	1. 主線を屈曲できる。 2. 弾線を屈曲できる。 3. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
40回 (講義24回) 6/19(月) ①	他科との協同による治療	1. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 2. 顎変形症の矯正治療を理解する。 3. 歯科保存治療、補綴治療に関連する矯正歯科治療を理解する。	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-2-4)-(1)-③ E-4-1)-④~⑨ ----- 各論 II-1, 8, 10, 11 各論 IV-1-7 各論 IV-7-7 各論 IV-15
41回 (講義25回) 6/19(月) ②	矯正用材料、矯正用器械、器具	1. 装置の構造を説明できる。 2. 装置の用い方を説明できる。 3. 矯正装置を図解できる。 4. 矯正用材料・器具を説明できる	講義 黒板 第4大講義室	西浦	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
42回 (実17回) 6/20(火) ①	舌側弧線装置の作成(3)	1. 弾線を鑑着できる。 2. 舌側弧線装置を合着できる。 3. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10, 11
43回 (実18回) 6/20(火) ②	舌側弧線装置の作成(3)	1. 弾線を鑑着できる。 2. 舌側弧線装置を合着できる。 3. 固定式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10, 11
44回 (講義26回) 6/26(月) ①	保定 総括	1. 保定の意義を理解できる。 2. 保定装置を図解できる。 3. 不正咬合の治療法を説明できる。 4. 不正咬合の予防法を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	松本	E-4-1)-①, ②, ④ ----- 必修 14-I-e, f, h 総論 V-1-キ, 4 総論 VII-2-ウ 各論 I-3 各論 II-6~11
45回 (講義27回) 6/26(月) ②	保定 総括	1. 保定の意義を理解できる。 2. 保定装置を図解できる。 3. 不正咬合の治療法を説明できる。 4. 不正咬合の予防法を説明できる。	講義 黒板 第4大講義室	松本	E-4-1)-①, ②, ④ ----- 必修 14-I-e, f, h 総論 V-1-キ, 4 総論 VII-2-ウ 各論 I-3 各論 II-6~11
46回 (実19回) 6/27(火) ①	床矯正装置の作成(1)	1. 唇側線の屈曲ができる。 2. 可撤式矯正装置の特徴を理解できる。 3. アダムスのクラスプの屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11
47回 (実20回) 6/27(火) ②	床矯正装置の作成(1)	1. 唇側線の屈曲ができる。 2. 可撤式矯正装置の特徴を理解できる。 3. アダムスのクラスプの屈曲ができる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 XI-15 各論 II-10, 11

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
48回 (実21回) 7/3(月) ①	床矯正装置 の作成(2)	1. レジン床の作製ができる。 2. 可撤式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 V-4 総論 XI-15 各論 II-10, 11
49回 (実22回) 7/3(月) ②	床矯正装置 の作成(2)	1. レジン床の作製ができる。 2. 可撤式矯正装置の特徴を理解できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-⑤~⑧ ----- 総論 V-4 総論 XI-15 各論 II-10, 11
50回 (実23回) 7/10(月) ①	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. ラウンドワイヤーのアーチワイヤー を屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
51回 (実24回) 7/10(月) ②	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. ラウンドワイヤーのアーチワイヤー を屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
52回 (実25回) 8/29(火) ①	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. ラウンドワイヤーのアーチワイヤー を屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
53回 (実26回) 8/29(火) ②	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. ラウンドワイヤーのアーチワイヤー を屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
54回 (実27回) 9/4(月) ①	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. ラウンドワイヤーのループを屈曲で きる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-②, ④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
55回 (実28回) 9/4(月) ②	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解で きる。 3. ラウンドワイヤーのループを屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-② E-4-1)-④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
56回 (実29回) 9/4(月) ③	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解で きる。 3. ラウンドワイヤーのループを屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-② E-4-1)-④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11
57回 (実30回) 9/4(月) ④	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. レクタングュラーワイヤーのループ を屈曲できる。	実習 模型・DVD 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-② E-4-1)-④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10-サ, 11

歯科矯正学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
58回 (実31回) 9/5(火) ①	マルチブラ ケット装置	1. エッジワイズ法の基本手技を習得する。 2. マルチブラケット装置の特徴を理解 できる。 3. レクタングュラーワイヤーのループ を屈曲できる。	実習 模型・PC 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-② E-4-1)-④ ----- 総論 IX-2-サ 総論 XI-15 各論 II-10, 11
59回 (実32回) 9/5(火) ②	総括	1. 矯正装置について説明できる。 2. 矯正治療に用いる器具について説明 できる。 3. 矯正装置の基本的条件および分類を 理解できる。	実習 模型・PC 第7実習室	松本 西浦 飯田 居波 有馬 安井 安積 細山	E-4-1)-① ----- 必修 14-4-e, f, h 総論 V-1-キ, 総論 V-4 総論 VII-2-ウ 各論 I-3 各論 II-6~11
9/12(火) ①	科目試験		第1-3小講義室		-----
再試験日程					
12/15(金) ③	科目再試験		第1,2小講義室		

小児歯科学

コース名	7臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年
授業科目名	小児歯科学		
科目責任者	有田 憲司（小児歯科学講座）		
科目分担者	原田 京子、篠永 ゆかり、阿部 洋子、園本 美恵、人見 さよ子、河合 咲希、西村 貴子、永田 幸子（小児歯科学講座）		
単 位	3単位	授業コマ数	44
		試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	1. 小児のこころとからだおよび顎口腔領域の発育について理解する。 2. 小児の口腔の発育異常・疾患について理解する。 3. 小児の口腔疾患における予防、診察・検査、診断を理解する。 4. 小児の齲蝕、歯冠修復、歯内療法、歯周疾患、外科的処置、歯の外傷および咬合誘導を理解する。		

評価法 (EV)	本試験、中間試験①、②ならびに口頭試問、出席状況、授業態度、レポートなどを総合的に評価する。
----------	--

オフィスアワー	樟葉：7階小児歯科学研究室 ・月曜日 要事前連絡（有田：arita-k@cc.osaka-dent.ac.jp） ・火曜日（12時～13時） 要事前連絡（原田：kyoko-w@cc.osaka-dent.ac.jp） ・水曜日（16時～18時） 要事前連絡（篠永：sinonaga@cc.osaka-dent.ac.jp） 天満橋：南館 M4 階小児歯科学医局 ・随時ただし要事前連絡 （有田：arita-k@cc.osaka-dent.ac.jp）（原田：kyoko-w@cc.osaka-dent.ac.jp） （阿部：abe-y@cc.osaka-dent.ac.jp）（篠永：sinonaga@cc.osaka-dent.ac.jp） （園本：sonomoto@cc.osaka-dent.ac.jp）（人見：hitomi@cc.osaka-dent.ac.jp） （西村：nisimura@cc.osaka-dent.ac.jp）（河合：kawai-s@cc.osaka-dent.ac.jp） （永田：nagata-s@cc.osaka-dent.ac.jp）
---------	---

	書 名	著者名 等	発 行 所
教科書	小児歯科学 ベーシックテキスト、クリニカルテキスト（2冊セット）	有田憲司 他編集	永末書店
	小児歯科学基礎・臨床実習 第2版	有田憲司 他編集	医歯薬出版
参考図書	小児歯科学 第4版	高木裕三 他編集	医歯薬出版
	乳歯列期における外傷歯の診断と治療 第2版	木村光孝 監修	クインテッセンス出版
	症例から学ぶはじめての咬合育成	高田 泰	クインテッセンス出版
	歯科国試パーフェクトマスター 小児歯科学 第2版	苅部洋行	医歯薬出版

授業計画＜講義・実習＞

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1回 4/10(月) ④	小児歯科学 概論と 心身の発育 ①	1. 小児と小児歯科学を説明できる。 2. 小児歯科医療の特性を説明できる。 3. 小児歯科医療の目的を説明できる。 4. 発育期の分類を説明できる。 5. 発育の評価法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-1-1)-② E-1-1)-①, ②, ⑤, ⑦, ⑧, ⑨, ⑬ E-1-3)-(1)-⑥~⑧ ----- 必修7-7-a, e 必修15-カ-a~d 総論V-1-7~キ

小児歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
2回 4/10(月) ⑤	心身の発育 ②	1. 精神運動発達を説明できる。 2. 摂食・嚥下機能の発達を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-1)-⑧ E-4-2)-① ----- 必修7-7-b~d 必修14-1-h, s 総論IV-3-I~カ 総論V-2-7~I 総論V-5-7~I
3回 4/17(月) ④	心身の発育 ③	1. 頭蓋・顎顔面の発育を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-3)-③、④ E-4-2)-① ----- 必修7-1-b 総論V-4-7, 1
4回 4/17(月) ⑤	歯の発育と異常	1. 歯の発育を説明できる。 2. 歯の発育異常を説明できる。 3. 歯の萌出時期・順序を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-3-1)-① E-3-2)-② ----- 必修7-1-a 総論V-3-カ 各論II-3-7~シ 各論II-4-7~カ
5回 4/24(月) ④	歯列および咬合の発育と異常	1. 歯列・咬合の発育を説明できる。 2. 乳歯列の特徴を説明できる。 3. 混合歯列の特徴を説明できる。 4. 歯列・咬合の異常を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-3)-③、④ E-4-1)-②~④ ----- 必修7-1-a 必修10-1-a~c 必修14-1-e 総論V-4-ウ 各論I-3-7-ウ 各論II-6-7~オ 各論II-11-7
6回 4/24(月) ⑤	乳歯・幼若永久歯の特徴	1. 乳歯と幼若永久歯の形態的特徴を説明できる。 2. 乳歯と幼若永久歯の組織学的特徴を説明できる。 3. 乳歯と幼若永久歯の物理化学的特徴を説明できる。 4. 乳歯と幼若永久歯の特徴と臨床との関係を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-3-2)-② E-3-1)-②、③ ----- 必修6-ウ-a, b, c 総論IV-4-7~コ
7回 5/1(月) ④	乳歯齲蝕	1. 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 2. 乳歯齲蝕の罹患率を説明できる。 3. 乳歯齲蝕の局所的為害作用を説明できる。 4. 乳歯齲蝕の全身的為害作用を説明できる。 5. 乳歯齲蝕のリスクファクターを説明できる。 6. 乳歯齲蝕の予防法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-3-2)-①、② E-4-2)-②、③ F-9-1) F-9-3) ----- 必修3-キ-a, b, c 必修6-I-a~d 各論I-1-7~キ 各論I-6-7~I, カ 各論I-7-ウ 各論III-1-7, ウ, I

小児歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
8回 5/1(月) ⑤	幼若永久歯の齲蝕	1. 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 2. 幼若永久歯齲蝕の罹患率を説明できる。 3. 幼若永久歯齲蝕の局所的為害作用を説明できる。 4. 幼若永久歯齲蝕の全身的為害作用を説明できる。 5. 幼若永久歯齲蝕のリスクファクターを説明できる。 6. 幼若永久歯齲蝕の予防法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-3-2)-(2) E-4-2)-(2), (3) F-9-2) ----- 総論XI-7-オ 各論I-1-7~キ 各論III-1-イ~エ
9回 5/8(月) ④	小児の口腔健康管理 (地域歯科保健)	1. 乳幼児歯科保健について説明できる。 2. 学校歯科保健について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-3-2)-(4), (5) ----- 必修3-ウ-a, b 必修3-イ-a 総論II-2-オ~ケ 総論II-3-エ, オ
10回 5/8(月) ⑤	小児の軟組織疾患	1. 小児の軟組織疾患の種類を説明できる。 2. 小児の軟組織疾患の特徴を説明できる。 3. 小児の軟組織疾患の処置法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-4)-(4) E-2-4)-(5)-(1), (3), (4) E-4-2)-(7) ----- 総論VI-11-ウ, カ 各論II-4-キ~ナ 各論IV-1-イ~キ 各論IV-4-7~ウ 各論IV-6-7~エ, ミ, ム
11回 5/15(月) ④	小児の歯周疾患	1. 小児の歯周疾患の種類を説明できる。 2. 小児の歯周疾患の特徴を説明できる。 3. 小児の歯周疾患の予防法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	B-3-2)-(1) ----- 各論I-2-7~ウ, オ, カ 各論III-7-7, イ
12回 5/15(月) ⑤	児童虐待	1. 児童虐待の種類を説明できる。 2. 児童虐待の疫学を説明できる。 3. 被虐待児の特徴を説明できる。 4. 被虐待児の発見を説明できる。 5. 被虐待児の予防を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(12) ----- 総論II-2-イ
13回 5/22(月) ④	中間試験①(試験範囲1回~11回)		講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	
14回 5/22(月) ⑤	小児への対応法	1. 小児患者・保護者・歯科医師の関係を説明できる。 2. 小児への対応法が説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	A-7-1)-(1)~(3) A-7-2)-(2)~(8) E-1-1)-(13) E-4-2)-(10) ----- 必修3-7-f 必修10-ケ-a, b 必修15-カ-a~d 総論VIII-2-7~オ 総論VIII-6-7, イ
15回 5/29(月) ④	歯冠修復法 (乳歯)	1. 修復材料の種類を説明できる。 2. 修復材料の適応を説明できる。 3. 修復材料の長所・欠点を説明できる。	第4大講義室	有田	E-4-2)-(4) ----- 総論XI-7-7~ウ
16回 5/29(月) ⑤	歯冠修復 (幼若永久歯)	1. 修復上の留意点を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(4) ----- 総論XI-7-7~ウ 各論III-3-7

小児歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
17回 6/5(月) ④	乳歯の歯髄疾患	1. 乳歯歯髄炎の診察を説明できる。 2. 乳歯歯髄炎の診査を説明できる。 3. 乳歯歯髄炎の診断を説明できる。 4. 各種歯髄処置を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(5), (6) ----- 総論X-2-ケ 各論Ⅲ-4-7
18回 6/5(月) ⑤	乳歯の根尖性歯周炎	1. 乳歯の根尖性歯周炎の診断を説明できる。 2. 乳歯感染根管治療を説明できる。 3. 乳歯の根管充填を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(5), (6) ----- 総論X-2-ケ 総論XI-7-ケ 各論Ⅲ-4-1
19回 6/12(月) ④	幼若永久歯の歯内療法	1. 歯内療法上の留意点を説明できる。 2. 歯内治療法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(5), (6) ----- 総論X-2-ケ 各論Ⅲ-4-ウ, I 各論Ⅲ-6-キ
20回 6/12(月) ⑤	小児の歯の外傷①	1. 乳歯外傷の特徴を説明できる。 2. 幼若永久歯外傷の特徴を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-4)-(2)-(2)~(4) E-4-2)-(7) ----- 各論Ⅱ-5-7, I, I 各論Ⅳ-8-7
21回 6/19(月) ④	小児の歯の外傷②	1. 歯の外傷の処置法を説明できる。 2. 歯の外傷の経過を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(7) ----- 各論Ⅰ-5-ウ, ヲ 各論Ⅱ-5-ウ
22回 6/19(月) ⑤	小児の外科的処置	1. 乳歯抜去の適応症を説明できる。 2. 乳歯抜歯の術式を説明できる。 3. 乳歯抜歯の留意点を説明できる。 4. 乳歯抜歯の合併症を説明できる。 5. 小児期の軟組織異常を説明できる。 6. 小児期の軟組織異常の処置を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-1-4)-(1), (2) E-4-2)-(7) ----- 総論X-2-ケ 総論X-5-7~ケ
23回 6/26(月) ④	咬合誘導法①	1. 咬合誘導の意義・目的を説明できる。 2. 咬合誘導法の分類を説明できる。 3. 口腔習癖と不正咬合との関係を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-1)-(2)~(4) E-4-2)-(8) ----- 各論Ⅰ-3-7~ウ 各論Ⅱ-6-7, I, オ 各論Ⅱ-7-7~オ 各論Ⅱ-10-ノ
24回 6/26(月) ⑤	咬合誘導法②	1. 保隙装置の種類を説明できる。 2. 保隙装置の適応症を説明できる。 3. 保隙装置の適応時期を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(9) ----- 各論Ⅱ-6-ウ 各論Ⅱ-10-シ, タ
25回 7/3(月) ④	咬合誘導法③	1. 動的咬合誘導を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-4-2)-(8) ----- 各論Ⅱ-6-I 各論Ⅱ-11-7
26回 7/3(月) ⑤	歯科治療上注意すべき小児の全身疾患	1. 遺伝性疾患を説明できる。 2. 染色体異常を説明できる。 3. 感染症を説明できる。 4. 循環器疾患などの特徴を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	E-2-4)-(9)-(2), (5) ~(8) E-4-6)-(5) ----- 必修15-ホ-a, b 総論VI-1-7, I 総論VI-11-7, ケ 各論Ⅱ-1-7~フ 各論Ⅳ-1-7~ウ, ヲ 各論Ⅳ-15-7~ヌ 各論Ⅳ-16-7 各論Ⅳ-17-サ, シ

小児歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
27回 7/10(月) ④	中間試験②(試験範囲12回~26回)		講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	
28回 7/10(月) ⑤	中間試験①および②の解説		講義 PC・黒板 第4大講義室	有田	
29・30回 9/28(木) ①②	第一乳臼歯 のスケッチ	1. 上顎第一乳臼歯の形態的特徴を説明できる。 2. 下顎第一乳臼歯の形態的特徴を説明できる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-3-1)-② ----- 総論IV-4-7
31・32回 9/28(木) ③④	混合歯列 分析	1. 混合歯列期模型の分析ができる。 2. 診断にもとづいて適切な治療計画を立案できる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-1)-④E-4-2)- ⑧, ⑨ ----- 必修15-ナ 各論II-6-7~オ
33・34回 10/5(木) ①②	乳歯のコン ポジットレ ジン修復	1. ラバーダム防湿の器材操作ができる。 2. 乳歯のコンポジットレジン窩洞形成ができる。 3. コンポジットレジンの充填が的確にできる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-2)-④, ⑩ ----- 総論X-2-ケ 各論III-3-7
35・36回 10/5(木) ③④	生活歯髄 切断法	1. 乳歯の生活歯髄切断法の適応症が説明できる。 2. 適切な歯髄切断処置ができる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-2)-⑥, ⑩ ----- 総論X-2-ケ 各論III-4-7
37・38回 10/12(木) ①②	既製乳歯冠	1. 既製乳歯冠装着の適応症が説明できる。 2. 支台歯形成ができる。 3. 乳歯冠の調整ができる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-2)-④, ⑩ ----- 総論X-2-ケ 各論III-3-7
39・40回 10/12(木) ③④	保険装置① クラウン ループ	1. クラウンループの設計ができる。 2. クラウンループの製作ができる。	実習 第8実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-2)-⑨ ----- 各論II-6-ウ
41・42回 10/19(木) ①②	保険装置② 可撤保険装置	1. 可撤保険装置の設計ができる。 2. 可撤保険装置の製作ができる。	実習 第7実習室	責任者・ 分担者全員	E-4-2)-⑨ ----- 各論II-6-ウ
43・44回 10/19(木) ③④	実習試験		実習 第7実習室	責任者・ 分担者全員	
12/4(月) ③	科目試験		第3,4,6 小講義室		

再試験日程

12/18(月) ③	科目再試験	第3,4小講義室		
---------------	-------	----------	--	--

障害者歯科学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	障害者歯科学				
科目責任者	中嶋 正博（障がい者歯科）				
科目分担者	中嶋 正博、伊達岡 聖（障がい者歯科）、百田 義弘（歯科麻酔学講座）、有田 憲司（小児歯科学講座）				
単 位	1 単位	授業コマ数	14	試験コマ数	1
一般目録 (G10)	障害者に対して必要な歯科医療を行うために、障害者歯科の基本理念、社会と健康、疾病と障害の関係や地域保健医療について理解する。また、知的障害（精神遅滞）、発達障害、肢体不自由、運動障害、精神障害などの疾患概念を理解し、歯科治療、障害者の行動調整法および歯科保健活動について理解する。さらに、摂食・嚥下機能の発達を理解し、口腔機能のリハビリテーションの重要性とその対応について理解する。				

評価法 (EV)	定期試験 出席
----------	---------

オフィスアワー	[楠葉] 日時：講義担当日の 11 時 35 分～12 時 30 分、講義終了後 担当：中嶋 正博（口腔外科第二講座研究室） [天満] 日時：月曜 17 時～18 時 担当：中嶋 正博、伊達岡 聖 ※上記曜日・時間以外の質問は、メールまたは電話で予約のこと。
---------	---

教科書	書 名	著者名 等	発行所
	スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科	日本障害者歯科学会編集	医歯薬出版
	スタンダード全身管理・歯科麻酔学	小谷 順一郎	学建書院
参考図書	子どもの摂食・嚥下障害 その理論と援助の実際	北住映二、尾本和彦、藤島一郎	永井書店

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SB0s)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1 回 2017/ 4/10(月) ③	障害者の 概念と 障害者 歯科総論	1. 健康と疾病と障害の概念を説明できる。 2. 障害のある人の QOL を説明できる。 3. ノーマライゼーションを説明できる。 4. 障害のある人の社会的、心理的問題点を説明できる。 5. 国際生活機能分類について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	B-1-1)-①, ②, ③ B-2-2)-④, ⑥, ⑦ ----- 必修2-7 総論Ⅱ-8-7, Ⅰ
第2回 4/17(月) ③	障害者の 保健・医療・ 福祉の仕組み	1. 障害のある人の医療・福祉の仕組みを説明できる。 2. 障害者にかかわる福祉制度を説明できる。 3. 障害者医療とチーム医療および多職種連携を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	B-2-2)-④, ⑥, ⑦, ⑧ ----- 必須16 総論Ⅱ-8-7~Ⅰ
第3回 4/24(月) ③	知的障害 (精神遅滞)	1. 精神発達障害の身体的特徴および心理的特徴を説明できる。 2. 知的障害者（精神遅滞者）の歯科治療と歯科保健指導について説明できる。 3. ダウン症患者の特徴と歯科治療時の留意点を説明できる。 4. 先天異常の病態、特徴を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	伊達岡 (障がい者歯科)	E-2-4)-(1)-① E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅷ-3-7~オ 総論Ⅹ-2-コ 各論Ⅱ-1 各論Ⅳ-15

障害者歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
第4回 5/1(月) ③	心理的発達と 行動の障害	1. 発達概念と発達障害について説明できる。 2. 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害について説明できる。 3. その他の発達障害について説明できる。 4. 自閉スペクトラム症患者の歯科治療と歯科保健指導について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	伊達岡 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅷ-3-7～オ 総論Ⅷ-2-オ 総論Ⅹ-2-コ
第5回 5/8(月) ③	神経・ 運動障害	1. 肢体不自由の概念と原因について説明できる。 2. 脳性麻痺について説明できる。 3. 脳性麻痺患者の対応について説明できる。 4. 脳性麻痺患者の歯科的問題点について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	伊達岡 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅷ-3-7～オ 総論Ⅹ-2-コ
第6回 5/15(月) ③	感覚障害	1. 視覚障害、聴覚障害、平衡障害者の身体的、心理的特徴を説明できる。 2. 視覚障害、聴覚障害、平衡障害者に対する行動調整を説明できる。 3. 視覚障害、聴覚障害、平衡障害者の歯科治療について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅷ-3-7～オ 総論Ⅹ-2-コ
第7回 5/22(月) ③	中途障害	1. 中途障害について説明できる。 2. 中途障害の疾患について説明できる。 3. 中途障害の歯科の対応と問題点について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅷ-3-7～オ 総論Ⅹ-2-コ
第8回 5/29(月) ③	内部障害	1. 内部障害について説明できる。 2. 内部障害患者の歯科的問題点と歯科治療時の留意点を説明できる。 3. てんかん患者の歯科治療について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ③, ④ E-4-6)①, ② ----- 総論Ⅷ-3-7～オ 総論Ⅷ6-7, イ, ウ, カ 総論Ⅹ-2-コ
第9回 6/5(月) ③	障害者における 行動調整 その1	1. 行動調整の基本的な概念を説明できる。 2. 薬物を用いない行動調整法について説明できる。 3. コミュニケーション法について説明できる。 4. 行動変容法について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	伊達岡 (障がい者歯科)	E-4-4)② ----- 総論Ⅷ-3-ウ, イ, オ 必3-7, f
第10回 6/12(月) ③	障害者における 行動調整 その2	1. 精神鎮静法を用いた行動調整を説明できる。 2. 全身麻酔による行動調整を説明する。	講義 PC・黒板 第4大講義室	百田 (麻酔)	E-4-4)② E-1-3)-(2)①～④ E-1-3)-(4)①～③ ----- 総論Ⅷ3-ウ, イ, オ 総論Ⅹ-2-コ
第11回 6/19(月) ③	障害児における 口腔保健管理	1. 障害児における口腔保健管理の意義を説明できる。 2. 各種障害児の口腔保健指導の方法を説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田 (小児)	E-4-4)①, ③, ④ ----- 総論Ⅹ-2-コ
第12回 6/26(月) ③	障害児における 口腔保健管理	1. ヒトの摂食・嚥下機能の正常な発達を説明できる。 2. 摂食・嚥下機能の発達障害について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有田 (小児)	E-4-3)-(⑩, ⑪) ----- 総論Ⅴ-5-イ 総論Ⅷ-3-オ 総論Ⅹ-7, イ

障害者歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
第 13 回 7/3(月) ③	障がい者に対する 歯科治療	1. 障害者に対する歯科治療の問題点を説明できる。 2. 障害者に対する歯科治療の特異性・留意点を説明できる。 3. 障害者に対する歯科保健指導の重要性を説明できる。	講義 PC・黒板 第 4 大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	E-4-4)①, ②, ③, ④ ----- 総論 X-2-コ
第 14 回 7/10(月) ③	障害者歯科 医療に おける リスク評価 と医療安全	1. 障害者歯科医療におけるリスク評価を説明できる。 2. 障害者歯科における安全管理を説明できる。 3. 障害者歯科における医療安全体制について説明できる。	講義 PC・黒板 第 4 大講義室	中嶋 (障がい者歯科)	A-5-1), 2) E-4-4)-⑤ ----- 必4-イ
9/11(月) ③	科目試験		第 3, 4, 6 小講義室		-----
再試験日程					
12/11(月) ③	科目再試験		第 3, 4 小講義室		

高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学

コース名	7臨床系歯科学医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学				
科目責任者	高橋 一也（高齢者歯科学講座）				
科目分担者	柿本 和俊、小野 圭昭、井上 太郎、渋谷 友美、楠 尊行、有川 香織（高齢者歯科学講座）				
単 位	3単位	授業コマ数	44	試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	近年日本では高齢化が急速に進み、4人に1人が高齢者という、世界でもまれにみる高齢社会を迎えている。その中で口腔の健康の回復・増進によって高齢者の生活の質(QOL)の向上に貢献することは歯科医師の大きな責務である。そのために必要な幅広い医学的、社会的知識を身につけ、的確な患者の全身状態を評価して、安心、安全で最適な歯科治療を行えること、また医療、介護、福祉の連携を学び口腔リハビリテーション医学に基づいた訪問歯科診療の中で高齢者への食べることの支援を理解することを目標とする。				

評価法 (EV)	科目試験、出席状況、実習態度、受講態度を総合的に判断する。
----------	-------------------------------

オフィスアワー	[楠葉]研究室(2号館5階) 日時：4月～9月の講義・実習のある時期の火曜17時～18時 担当：講義担当教員(4月～9月の講義がない火曜は井上 太郎) ※上記曜日・時間以外の質問はメールで、井上 太郎まで連絡してください。対応できる期日と方法をお伝えします(メール:taro-i@cc.osaka-dent.ac.jp)
	[天満]医局(南館5階) 日時：水曜17時～18時 担当：高橋 一也 ※上記曜日・時間以外の質問はメールで、高橋 一也まで連絡してください。対応できる期日と方法をお伝えします(メール:kazuya-t@cc.osaka-dent.ac.jp)

教科書	書 名	著者名 等	発 行 所
	老年歯科医学	森戸光彦、小正 裕、高橋一也 他	医歯薬出版
参考図書	高齢者歯科学	森戸光彦、小正 裕、高橋一也 他	永末書店
	高齢者歯科治療医療-歯科医療につながる医学知識-	小正 裕、岡崎定司、柿本和俊他	永末書店
	高齢者歯科ガイドブック	植松 宏、小正 裕 他	医歯薬出版
	摂食・嚥下リハビリテーション 第2版	才藤栄一、向井美恵 他	医歯薬出版
	老年医学 系統講義テキスト	日本老年学会	西村書店

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
1回 2017/ 4/11(火) ③	社会的背景 (その1)	1. 高齢者歯科学の概論について説明できる。 2. 口腔リハビリテーション学の概論について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	B-2-2)-⑤ ----- 必修2-7-b 必修15-ア-c 必修16-オ 総論Ⅱ-6

高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
2回 4/11(火) ④	社会的背景 (その2)	1. 社会環境について説明できる。 2. 社会保障について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	B-2-2)-①~④ ----- 必修2-ウ-f 必修16-オ 必修3-カ-c, d, e
3回 4/11(火) ⑤	社会的背景 (その3)	高齢者のための社会保障制度について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	B-2-2)-①~④ ----- 必修2-ウ-f 必修16-オ 必修3-カ-c, d, e
4回 4/18(火) ③	加齢の科学 (その1)	老化(生物学的加齢変化)について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	柿本	E-4-3)-①~② ----- 総論V-6 総論VI-12-オ 総論VIII-5-7, 1
5回 4/18(火) ④	加齢の科学 (その2)	全身的な加齢変化について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	柿本	E-4-3)-①~② ----- 総論V-6 総論VI-12-オ 総論VIII-5-7, 1
6回 4/18(火) ⑤	加齢の科学 (その3)	口腔の加齢変化について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	柿本	E-4-3)-①~② ----- 総論V-6 総論VI-12-オ 総論VIII-5-7, 1
7回 4/25(火) ③	医学的背景 (その1)	高齢者に多い全身疾患について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11, 13
8回 4/25(火) ④	医学的背景 (その2)	高齢者に多い全身疾患について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11, 13
9回 4/25(火) ⑤	医学的背景 (その3)	ターミナルステージについて説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11, 13
10回 5/2(火) ③	診療環境 ③	1. 外来について説明できる。 2. 入院下について説明できる。 3. 在宅について説明できる。 4. 施設について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	小野	A-7-3)-①~③ ----- 必修15-I-a~e 必修カ-a~d 必修16-7, 1
11回 5/2(火) ④	高齢者と 栄養 (その1)	1. 口腔機能と栄養について説明できる。 2. 栄養状態の評価について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	渋谷	E-4-3)-⑤ ----- 必修15-7 総論X-7-オ, カ 各論V-10-7 各論VI-14, 17
12回 5/2(火) ⑤	高齢者と 栄養 (その2)	高齢者の栄養管理について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	渋谷	E-4-3)-⑤ ----- 必修15-7 総論X-7-オ, カ 各論V-10-7 各論VI-14, 17
13回 5/9(火) ③	高齢者歯科 医療の実際 全身疾患との 関連 (その1)	1. 医療情報の収集(医療面接)について説明できる。 2. 医療情報の収集(他科への照会)について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	柿本	E-4-3)-⑥ ----- 必修16-7, 1 総論VIII-5-ウ~カ 総論X-2-ウ

高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
14回 5/9(火) ④	高齢者歯科 医療の実際 全身疾患と の関連 (その2)	1. 医療情報の分析について説明できる。 2. 診療時介入時の注意点について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	柿本	E-4-3)-(6) ----- 必修16-7, イ 総論Ⅷ-5-ウ~カ 総論Ⅹ-2-シ
15回 5/9(火) ⑤	口腔機能 管理 (その1)	1. 高齢者と口腔機能の評価について説明できる。 2. 咬合と口腔機能の評価について説明できる。 3. 咀嚼機能の評価について説明できる。 4. 味覚の評価と味覚障害について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	小野	E-2-4)-(10)-(2) ----- 必修15-ハ-a, b 総論Ⅶ-2 総論Ⅸ-1, 2 各論Ⅹ10-オ
16回 5/16(火) ③	口腔機能 管理 (その2)	1. 口腔衛生と口腔環境(口腔ケア・肺炎)について説明できる。 2. 口腔衛生と口腔環境(口腔湿潤剤・含嗽剤)について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	渋谷	E-2-4)-(10)-(5) ----- 必修3-コ-b 必修15-ハ-b 総論Ⅶ-2 総論Ⅸ-1-キ, シ, ソ, チ, ツ 総論Ⅸ-2-チ, ツ
17回 5/16(火) ④	口腔機能 管理 (その3)	1. 唾液の評価について説明できる。 2. 唾液の分泌障害について説明できる。 3. 口臭について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	渋谷	E-2-4)-(10)-(5) ----- 必修3-コ-a 必修15-ハ-b 総論Ⅶ-2 総論Ⅸ-1-キ, シ, ソ, チ, ツ 総論Ⅸ-2-チ, ツ
18回 5/16(火) ⑤	PAP 製作	摂食嚥下リハビリテーションにおけるPAPの製作を行うことができる。	実習 第7実習室	井上	E-4-3)-(11) ----- 各論Ⅴ-9-ウ 各論Ⅵ-18
19-21回 5/23(火) ③④⑤ 全体実習	PAP 製作	摂食嚥下リハビリテーションにおけるPAPの製作を行うことができる。	実習 第7実習室	分担者全員	E-4-3)-(11) ----- 各論Ⅴ-9-ウ 各論Ⅵ-18
22-24回 5/30(火) ③④⑤ 班別実習	A班: 車椅子 の移動と 移乗	1. 車椅子移動を行うことができる。 2. 移乗の介助を行うことができる。	実習 第9実習室	分担者全員	E-4-3)-(7) -----
	B班: スク リーニン グ法	摂食嚥下機能のスクリーニング法を行うことができる。	実習 第6実習室	分担者全員	E-4-3)-(10) ----- 各論Ⅵ-16
22-24回 5/30(火) ③④⑤ 班別実習	C班: 間接訓 練, 直接訓 練, 食事介 助	1. 間接的訓練を行うことができる。 2. 直接的訓練を行うことができる。 3. 食環境指導を行うことができる。	実習 第7実習室	分担者全員	E-4-3)-(11) ----- 各論Ⅵ-16
	D班: 口腔ケ ア	1. ケアプランの策定を行うことができる。 2. 専門的口腔ケアを行うことができる。	実習 第7実習室	分担者全員	E-4-3)-(4), (5) ----- 各論Ⅵ-14
25-27回 6/6(火) ③④⑤ 班別実習	A班: スク リーニン グ法 B班: 間接訓 練, 直接訓 練, 食事介 助 C班: 口腔ケ ア D班: 車椅子 の移動と移 乗		実習 第6, 7, 9実習室	分担者全員	-----

高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
28-30回 6/13(火) ③④⑤ 班別実習	A班: 間接訓練, 直接訓練, 食事介助 B班: 口腔ケア C班: 車椅子の移動と移乗 D班: スクリーニング法		実習 第6, 7, 9実習室	分担者全員	
31-33回 6/20(火) ③④⑤ 班別実習	A班: 口腔ケア B班: 車椅子の移動と移乗 C班: スクリーニング法 D班: 間接訓練, 直接訓練, 食事介助		実習 第6, 7, 9実習室	分担者全員	
34回 6/27(火) ③	口腔ケア・ リスク管理	1. 口腔アセスメント票から情報を得て説明できる。 2. 適切な口腔ケアプランを策定し説明できる。 3. 口腔ケアの体位を選択し説明できる。 4. 口腔清掃用具について特徴と使用方法を説明できる。 5. 義歯ケアの指導を説明できる。 6. 義歯洗浄剤の特徴を説明できる。	全体討論 PC・黒板 第4大講義室	有川	E-4-3)-④, ⑤ 各論VI-14, 18
35回 6/27(火) ④	訪問診療	1. 訪問診療の基本について説明できる。 2. 訪問診療に用いる器具・器材について説明できる。 3. 訪問診療の実際について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	有川	E-4-3)-⑤, ⑧, ⑨ 必修15-I-a~e 必修15-7 必修15-h-c 総論VIII-5-ク, ケ 各論VI-14
36回 6/27(火) ⑤	摂食嚥下 障害 (その1)	高齢者の摂食嚥下機能の基礎について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	E-2-1)-⑧ E-4-3)-⑩, ⑪ 必修9-ウ-k, m 必修14-I-s 総論IX-1, 2 総論X-7 各論VI-15~17
37回 7/4(火) ③	摂食嚥下 障害 (その2)	高齢者の摂食嚥下機能の検査と・診断について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	小野	E-2-1)-⑧ E-4-3)-⑩, ⑪ 必修9-ウ 必修14-I 総論IX-1, 2 総論X-7-I~I 各論VI-15~17
38回 7/4(火) ④	摂食嚥下 障害 (その3)	1. 摂食嚥下機能と歯科治療の関連について説明できる。 2. 摂食機能療法の進め方について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	小野	E-2-1)-⑧ E-4-3)-⑩, ⑪ 必修9-ウ 必修14-I 総論IX-1, 2 総論X-7-I 各論V-10-オ 各論VI-15~18

高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
39回 7/4(火) ⑤	摂食嚥下 障害 (その4)	摂食機能療法の実際について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	井上	E-2-1)-⑧ E-4-3)-⑩, ⑪ ----- 必修9-ウ 必修14-イ 総論IX-1, 2 総論X-7-オ, カ 各論V-9-ウ 各論V-10-ク 各論VI-15~17
40回 8/29(火) ③	摂食嚥下 障害 (その5)	疾患による特徴とリハビリテーションについて説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	井上	E-2-1)-⑧ E-4-3)-⑩, ⑪ ----- 必修9-ウ 必修14-イ 総論IX-1, 2 総論X-7-イ 各論V-10-オ 各論VI-15~18
41回 8/29(火) ④	高齢者に 多い 口腔疾患 (その1)	1. 歯および歯周病について説明できる。 2. 歯の欠損への対応について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	楠	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11, 18
42回 8/29(火) ⑤	高齢者に 多い 口腔疾患 (その2)	軟組織に関連する疾患について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	楠	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11
43回 9/5(火) ③	高齢者に 多い 口腔疾患 (その3)	1. 硬組織に関連する疾患について説明できる。 2. 神経疾患について説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	楠	E-4-3)-③ ----- 各論VI-7, 10, 11
44回 9/5(火) ④	各ステージ における 歯科の 役割	1. 急性期診療への参画について説明できる。 2. 回復期・周術期における役割について説明できる。 3. 終末期における役割について説明できる。 4. 死への立ち合いについて説明できる。	講義 PC・黒板 第4大講義室	高橋	B-2-2)-⑧~⑩ ----- 必修16-イ 総論I-3 総論VIII-5
9/12(火) ④	科目試験		第1-3小講義室		
再試験日程					
12/22(金) ②	科目再試験		第1,2小講義室		

局部床義歯補綴学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第 4 学年		
授業科目名	局部床義歯補綴学				
科目責任者	岡崎 定司 (欠損歯列補綴咬合学講座)				
科目分担者	岡崎定司、西崎 宏、兼平治和、吉峰茂樹、山本さつき、坂井大吾、小正 聡、内藤大介 (欠損歯列補綴咬合学講座) 実習インストラクター (非常勤講師) : 池田直也、嶋村清次、恩地良幸、三谷 徹、奥田啓之、 吉峰美千代、西川敏文、藤原 到、島谷 肇、岡本吉宏、田村佳則、土居 聖、小林将之、 金村優吾、前田武志				
単 位	5 単位	授業コマ数	74	試験コマ数	1
一般目標 (G10)	局部床義歯補綴の基本と局部床義歯による補綴治療を理解する。 局部床義歯の構成要素と機能時の動きおよび義歯の設計を理解する。 歯の部分欠損を局部床義歯で補綴治療する際の診察と検査から装着に至る製作の手順とその意義を理解する。 局部床義歯の術後管理を理解する。 局部床義歯の治療に必要な材料と器材を理解する。 局部床義歯の製作を通じて、基本的な技術、材料や器具の取り扱い方を習得する。 局部床義歯の治療の流れと製作方法を理解する。				

評価法 (EV)	科目試験、出席状況、授業態度、実習などを総合的に判定する。
----------	-------------------------------

オフィスアワー	日時：講義または実習がある日の 17:00~18:00 場所：楠葉学舎 2 号館 5 階欠損歯列補綴咬合学講座研究室 担当：吉峰 (yosimine@cc.osaka-dent.ac.jp)、山本 (satuki-y@cc.osaka-dent.ac.jp) 備考：講義、実習の終了時間に合わせて対応するので、予めメールで連絡してください。 こちらから時間を連絡します。
---------	---

	書 名	著者名 等	発 行 所
教科書	歯学生のパーシャルデンチャー 第 5 版	三谷春保 他編	医歯薬出版
	パーシャルデンチャー実習帳	欠損歯列補綴咬合学講座	欠損歯列補綴咬合学講座
参考図書	パーシャルデンチャーテクニック	岡崎定司 他編	医歯薬出版
	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学	藍 稔 他編	学建書院

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1 回 4/13 (木) ①	局部床義歯 概論①	1. 歯の部分欠損の病態を説明できる。 2. 局部床義歯による補綴治療の目的を説明できる。 3. 局部床義歯の臨床的意義を説明できる。 4. 局部床義歯の特徴を説明できる。 5. 局部床義歯の構成要素を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	岡崎	E-3-4)-(2)①, ②, ⑥ E-2-4)-(10)① ----- 必修14-i-f 総論V-6-7, I 総論VI-12-7~9 各論V-1-7~カ -3-7~エ, キ~ケ -5-7
2 回 4/13 (木) ②	局部床義歯 概論②	1. 局部床義歯の適応症を説明できる。 2. 補綴装置の選択を説明できる。 3. 局部床義歯の長所と短所を説明できる。 4. 局部床義歯の設計にあたり、症型分類の有効性を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	岡崎	E-3-4)-(2)②, ③ ----- 各論V-2-7~I 各論V-3-7~I 各論V-5-7

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
3回 4/13(木) ③	局部床義歯 に加わる力 への対応①	1. 局部床義歯に加わる力の種類を説明できる。 2. 局部床義歯に加わる力への対応を説明できる。 3. 局部床義歯の支持機構を説明できる。 4. 局部床義歯の把持機構を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	兼平	E-3-4)-(2)④ ----- 各論V-3-イ～オ 各論V-5-7
4回 4/13(木) ④	局部床義歯 に加わる力 への対応②	局部床義歯の維持機構を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	兼平	E-3-4)-(2)④, ⑥ ----- 各論V-3-7～オ 各論V-5-7
5回 4/13(木) ⑤	クラスプ	局部床義歯の支台装置(クラスプ)の種類を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	E-3-4)-(2)④, ⑥ ----- 各論V-3-7～オ 各論V-5-7
6、7回 4/20(木) ①②	サベイング	1. サベイングの目的を説明できる。 2. サベイヤーの使用方法を説明できる。 3. 研究用模型のサベイングと作業用模型のサベイングを説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉峰	E-3-4)-(2)⑪, ⑫ ----- 各論V-5-カ
8回 4/20(木) ③	局部床義歯 の印象①	局部床義歯を用いた補綴治療に用いる印象方法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	D-2-③,④ E-3-4)-(2)⑦, ⑩ ----- 必修6-イ-a, d 必修15-ト-a 必修15-ニ-a 必修15-マ-b, c 総論XI-4-7～サ 総論XI-5-7 各論V-5-イ, ウ
9、10回 4/20(木) ④⑤	局部床義歯 の製作①② 診断用模型	1. 概形印象ができる。 2. 研究用模型を製作できる。	実習 第8実習室	全員	E-1-1)-(⑩) ----- 必修15-ト-a 各論V-2-イ, ウ
11回 4/27(木) ①	局部床義歯 の印象②	1. 局部床義歯の印象に用いる材料を説明できる。 2. 印象採得に係る解剖学的事項を説明できる。 3. 模型の種類を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	D-2-③④ E-3-4)-(2)⑦, ⑩ ----- 必修6-イ-a, d 必修15-ト-a 必修15-ニ-a 必修15-マ-b, c 総論XI-4-7～サ 総論XI-5-7 各論V-5-イ, ウ
12回 4/27(木) ②	連結子と 局部床義歯 の設計	1. 局部床義歯の連結子の種類を説明できる。 2. 局部床義歯の設計の原則を説明できる。 3. Kennedy の分類に基づいた設計の考え方を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑥⑫ ----- 各論V-3-7～オ 各論V-5-7
13回 4/27(木) ③	局部床義歯 の製作③ 義歯の設計	予備サベイングができる。 仮設計ができる	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑪, ⑫ ----- 各論V-5-カ

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
14、15回 4/27(木) ④⑤	局部床義歯 の製作④⑤ 個人トレー	個人トレーを製作できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 各論V-5-イ
16回 5/11(木) ①	局部床義歯 補綴の治療 計画	1. 局部床義歯補綴の診察と検査を説明できる。 2. 診断に基づく局部床義歯補綴の治療計画を説明できる。 3. 局部床義歯を用いた補綴治療の前処置(広義)について説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	兼平	A-7-2)① E-1-1) -①④⑦⑧⑨ ⑪⑫⑬ E-2-4)-(10)① E-3-4)-(2)⑪⑫ ----- 必修8-7-a~c 必修8-イ-a~f 必修8-ウ-a~g 必修9-イ-e~h 必修10-7-a~e 必修10-イ-a~d 必修10-ウ-a, b 必修10-カ-e 必修10-キ-a~c 必修11-7-a~c 必修11-エ-a~e 総論IX-1-カ, ケ~ サ, ス, セ 総論X-1-7~エ 各論V-2-7~エ, カ
17回 5/11(木) ②	支台歯の前 処置	1. 局部床義歯の支台歯の前処置を説明できる。 2. 前処置としての咬合調整を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑪ ----- 必修15-ト-a 必修15-セ 各論V-2-カ
18回 5/11(木) ③	局部床義歯 の製作⑥ 前処置	支台歯の前処置を実践できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑪ ----- 必修15-ト-a 各論V-2-カ
19回 5/11(木) ④	局部床義歯 の製作⑦ 精密印象	精密印象を実践できる。	実習 第8実習室	全員	D-2-③ E-3-4)-(2)⑦, ⑩, ⑪ ----- 必修15-ト-a 必修15-ニ-a 必修15-マ-b 総論XI-4-キ, サ 各論V-5-イ
20回 5/11(木) ⑤	局部床義歯 の製作⑧ 作業用模型	作業用模型を製作できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 必修15-マ-c 総論XI-5-7 各論V-5-ウ

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
21回 5/18(木) ①	局部床義歯 の咬合採得 ①	1. 咬合採得に用いる材料を説明できる。 2. 残存歯の状態に応じた適切な咬合採得 を選択できる。 3. 局部床義歯の咬合様式とその意義を説 明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	D-2-② E-3-4)-(2)⑤, ⑧ 総論IV-3-イ 総論XI-6-イ 総論XI-9-7 各論V-3-カ 各論V-5-エ
22回 5/18(木) ②	局部床義歯 の咬合採得 ②	1. 局部床義歯を製作するための咬合採得 を説明できる。 2. 咬合採得に必要な下顎位を説明でき る。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	E-3-4)-(2)⑧, ⑨ 必修15-ト-a 必修15-ヌ-a 総論IV-3-7~ウ 各論V-5-エ
23、24回 5/18(木) ③④	局部床義歯 の製作⑨⑩ 咬合床	咬合床を製作できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑧, ⑩, ⑪ 必修15-マ-f 各論V-5-エ
25回 5/18(木) ⑤	局部床義歯 の製作⑪ 咬合採得	咬合採得ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑧, ⑩, ⑪ 必修15-ヌ-a 各論V-5-エ
26回 5/25(木) ①	金属床義歯 ①	1. 金属床義歯の特徴を説明できる。 2. フレームワークの各部の形態を説明で きる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉峰	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ 必修15-マ-f 総論XI-9-キ~コ 各論V-5-7, キ
27回 5/25(木) ②	金属床義歯 ②	フレームワークの製作過程を説明でき る。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ 必修15-マ-f 総論XI-9-キ~コ 各論V-5-7, キ
28回 5/25(木) ③	局部床義歯 の製作⑫ 咬合器装着	咬合器装着を実践できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑧, ⑨ 必修15-ネ-a, b 各論V-5-オ
29回 5/25(木) ④	局部床義歯 の製作⑬ 義歯の設計	1. 作業用模型のサベイングができる。 2. 本設計ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑪, ⑫ 各論V-5-7, カ, キ
30回 5/25(木) ⑤	局部床義歯 の製作⑭ 義歯の設計	作業用模型でブロックアウトとリリース ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪, ⑫ 各論V-5-キ 総論XI-6-ウ
31回 6/1(木) ①	咬合器	1. 咬合器の種類を説明できる。 2. 半調節性咬合器の使い方を説明でき る。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑨ 必修15-ネ-a, b 総論IX-1-ケ, コ 各論V-5-オ
32回 6/1(木) ②	局部床義歯 の製作⑮ 支台装置	線鉤を製作することができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)④, ⑩, ⑪ 必修15-マ-f 各論V-5-キ

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
33回 6/1(木) ③	局部床義歯 の製作⑯ 支台装置	1. 複印象ができる。 2. 耐火模型を製作することができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 各論V-5-キ
34、35回 6/1(木) ④⑤	局部床義歯 の製作⑰⑱ 支台装置	クラスプのワックスアップができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)④, ⑩, ⑪ ----- 総論XI-6-7〜ウ 各論V-5-キ
36回 6/8(木) ①	局部床義歯 補綴の 診療手順	局部床義歯補綴の診療手順を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	岡崎	E-3-4)-(2)⑪ ----- 各論V-2-7〜カ 各論V-5-7〜セ
37〜39回 6/8(木) ②③④	局部床義歯 の製作 ⑲〜㉑ 支台装置	1. クラスプのワックスアップができる。 2. 鑄造鉤のワックスパターンを埋没できる。 3. クラスプの鑄造ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 必修15-ノ-a 総論XI-12-7, イ 各論V-5-キ
40回 6/8(木) ⑤	局部床義歯 の製作㉒ 大連結子	パラタルバーを屈曲できる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑥, ⑩, ⑪ ----- 各論V-5-7
41回 6/15(木) ①	人工歯排列 と試適	1. 局部床義歯の人工歯選択と排列を説明できる。 2. 局部床義歯の歯肉形成を説明できる。 3. 局部床義歯の試適を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	岡崎	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 必修15-ト-a 総論XI-9-オ 各論V-5-ク〜コ
42〜45回 6/15(木) ②〜⑤	局部床義歯 の製作 ㉓〜㉖ 支台装置	1. 研磨に用いる器材を選択できる。 2. クラスプの研磨ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 必修15-マ-a 総論XI-3-7, イ 各論V-5-キ
46回 6/22(木) ①	埋没、重合、 咬合調整と 研磨	1. 局部床義歯の埋没法を説明できる。 2. 局部床義歯の重合を説明できる。 3. 咬合器再装着を説明できる。 4. 局部床義歯の研磨を説明できる	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉峰	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 必修15-マ-f, イ 総論XI-3-7, イ 総論XI-9-イ〜エ 総論XI-10-7〜ウ 各論V-5-サ, シ
47、48回 6/22(木) ②③	局部床義歯 の製作㉗㉘ 人工歯排列	人工歯排列ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 総論XI-6-イ 総論XI-9-オ 各論V-5-ク
49、50回 6/22(木) ④⑤	局部床義歯 の製作 ㉙㉚ 歯肉形成	歯肉形成ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 総論XI-9-イ 各論V-5-ケ
51回 6/29(木) ①	局部床義歯 の材料	局部床義歯に用いる材料を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑩ D-2-②, ⑤, ⑥ ----- 必修15-マ-a, f 総論XI-9-7〜ス

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
52、53回 6/29(木) ②③	局部床義歯 の製作①② 埋没	局部床義歯の埋没ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩, ⑪ ----- 各論V-5-サ
54、55回 6/29(木) ④⑤	局部床義歯 の製作③④ 重合	局部床義歯を加熱重合で製作することができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩⑪ ----- 総論XI-9-イ 総論XI-10-7 各論V-5-サ
56回 7/6(木) ①	局部床義歯 の装着、調整 と指導	1. 局部床義歯の装着と調整を説明できる。 2. 局部床義歯装着後の患者指導を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉峰	E-3-4)-(2)⑬, ⑭ ----- 必修15-t-a 各論V-2-オ 各論V-5-ス、セ
57、58回 7/6(木) ②③	局部床義歯 の製作⑤⑥ 咬合器再装 着	1. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 2. 局部床義歯の咬合調整ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩⑪ ----- 各論V-5-シ
59、60回 7/6(木) ④⑤	局部床義歯 の製作⑦⑧ 咬合調整	1. 研磨に用いる器材を選択できる。 2. 局部床義歯の研磨ができる。	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩⑪ ----- 必修15-m-i 総論XI-3-7、イ 各論V-5-シ
61回 7/13(木) ①	局部床義歯 の装着後の 管理	1. 義歯の修理を説明できる。 2. リラインとリベースを説明できる。 3. 局部床義歯を装着した患者の口腔内の 変化を説明できる。 4. 局部床義歯を装着した患者のリコール の意義を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	山本	E-3-4)-(2)⑬, ⑭ ----- 必修15-t-a 総論XI-9-カ 各論V-5-ス、セ 各論V-10-7〜キ 各論VI-18-7〜オ
62〜65回 7/13(木) ②〜⑤	局部床義歯 の製作 ⑨〜⑫ 研磨	1. 局部床義歯の装着時に必要な検査が できる。 2. 局部床義歯装着時の患者指導が できる。 (作品提出)	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑩⑪ ----- 必修15-m-i 総論XI-3-7、イ 各論V-5-シ
66回 8/31(木) ②	アタッチメ ントとオー バーデン チャー	1. 支台装置(アタッチメント)を説明 できる。 2. オーバーデンチャーを説明できる。 3. アタッチメントを用いたインプラント 義歯、残根上義歯を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	兼平	E-3-4)-(2)② ----- 総論XI-9-シ 各論V-7-7、イ
67回 8/31(木) ③	義歯の種類	1. 暫間義歯、即時義歯、移行義歯、治療 義歯を説明できる。 2. 顎義歯を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	岡崎	E-3-4)-(2)② ----- 各論V-9-7、ウ、エ
68、69回 8/31(木) ④⑤	義歯の設計 ①②	1. 口腔内の状態に応じた局部床義歯の設 計を模型上に描記できる。 2. 技工指示書に必要事項を記載できる。 (作品返却)	実習 第8実習室	全員	E-3-4)-(2)⑥, ⑫ ----- 各論V-5-7
70、71回 9/7(木) ①②	義歯の設計	金属床義歯の設計を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	西崎	E-3-4)-(2)⑥⑫ ----- 各論V-5-7

局部床義歯補綴学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
72~74 回 9/7 (木) ③~⑤	義歯の設計 ③~⑤	1. 口腔内の状態に応じた局部床義歯の設計を模型上に描記できる。 2. 技工指示書に必要事項を記載できる。 (作品の修正)	実習 第 8 実習室	全員	E-3-4)-(2) ⑥⑫ ----- 各論 V-5-7
9/19(火) ③	科目試験		第 4-6 小講義室		-----

再試験日程

12/21(木) ③	科目再試験		第1、2小講義室		
---------------	-------	--	----------	--	--

口腔インプラント学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	口腔インプラント学				
科目責任者	馬場 俊輔（口腔インプラント学講座）				
科目分担者	馬場 俊輔、山田 陽一、李 佩祺、柏木 隆宏、原 朋也（口腔インプラント学講座）				
単 位	2 単位	授業コマ数	29	試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	高い医療倫理、医療知識、診断能力、医療技術を養う。QOL 向上のため、咀嚼機能と審美性を回復させるインプラント補綴を用いた歯科医療を修得する。				

評価法 (EV)	出席状況、受講態度、科目試験の結果を総合的に判定する。
----------	-----------------------------

オフィスアワー	オフィスアワーの設定は設けません 李佩祺までメール(li-peiqi@cc.osaka-dent.ac.jp)で予約して下さい
---------	--

	書 名	著者名 等	発 行 所
教科書	よくわかる口腔インプラント学 第3版	赤川安正、松浦正朗 他編	医歯薬出版
	口腔インプラント学実習書	公益社団法人 日本口腔インプラント学会編	永末書店
参考図書	歯科放射線学 第5版	岡野友宏 他編	医歯薬出版
	ザ・ペリオドントロジー	和泉雄一 他編	永末書店
	クラウンブリッジ補綴学	石橋寛二、川添堯彬 他編	医歯薬出版
	スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版	小谷順一郎編	学建書院

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1・2回 2017/ 4/12(水) ③④	インプラント 治療概論	1. インプラントの歴史を理解する。 2. オッセオインテグレーションを説明できる。 3. 現代のインプラントの成功基準を説明できる。 4. 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを説明できる。 5. 口腔インプラントの選択基準を説明できる 6. インプラントの基本構造、表面構造及び埋入術式を説明できる	講義 パワーポイント 第4大講義室	馬場 山田	E-3-4)-(3)-①、② 総論V-3-ケ 総論XI-1-ク 総論V-8-7 各論V-8-イ
3・4回 4/19(水) ③④	インプラント 基礎科学、治 療と診断	1. インプラント治療と関連がある顎骨の基本形態を説明できる 2. インプラント材料の所要性質、生体適合性及び表面処理の意義を説明できる 3. インプラントに対する生体反応を説明できる 4. インプラントー組織界面について説明できる 5. インプラント治療における検査項目を説明できる 6. インプラント治療のリスク因子を説明できる 7. インプラントの画像検査法を説明できる	講義 パワーポイント 第4大講義室	柏木	E-3-4)-(3)-③、 ④ 各論V-8-ウ

口腔インプラント学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
5・6回 4/26(水) ③④	インプラント 治療計画	1. インプラントの補綴デザインで考慮すべき生体力学的要素を説明できる。 2. インプラントにおける治療計画を説明できる。 3. アバットメントの種類と特徴を説明できる。 4. 上部構造の種類とデザイン、固定法を説明できる。	講義 パワーポイント 第4大講義室	柏木	E-3-4)-(3)-②, ③ ----- 各論V-8-ウ
7・8回 5/10(水) ③④	インプラント 埋入手術	1. 切開手技を説明できる。 2. 遊離端欠損部位のインプラント埋入手技を修得する。 3. 1回法を説明できる。 4. 2回法を説明できる。	講義 パワーポイント 第4大講義室	山田	E-3-4)-(3)-②, ③ ----- 各論V-8-オ
9・10回 5/17(水) ③④	インプラント 埋入手術	1. 切開手技を説明できる。 2. 遊離端欠損部位のインプラント埋入手技を修得する。 3. 1回法を説明できる。 4. 2回法を説明できる。	講義 パワーポイント 第4大講義室	柏木	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-オ
11・12回 5/24(水) ③④	インプラント 治療概論	1. 骨造成術・骨補填材について説明する。 2. インプラント上部構造について概説できる。 3. インプラントオーバーデンチャーの特性を説明できる。	講義 パワーポイント 第4大講義室	柏木	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 総論XI-16-イ, エ, オ 各論IV-7-オ-d~f 各論V-8-オ~コ
13・14回 5/31(水) ③④	実習	1. 治療計画の立案ができる。 2. トレース技術を修得する。 3. シミュレーションソフトが使用できる。	実習 パワーポイント PC室	新井 李 柏木 原	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-カ~コ
15・16回 6/7(水) ③④	実習	1. 切開手技を実践する。 2. 遊離端欠損部位のインプラント埋入手技を修得する。 3. インプラント印象採得を実践する。	実習 パワーポイント 第8実習室	新井 李 柏木 原 非常勤講師	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-カ~コ
17・18回 6/14(水) ③④	実習	1. セメント固定式上部構造の製作過程を修得する	実習 パワーポイント 第8実習室	新井 李 柏木 原 非常勤講師	E-3-4)-(3)-①, ② ----- 各論V-8-カ~コ
19・20回 6/21(水) ③④	実習	1. スクリュー固定式上部構造の製作過程を修得する	実習 パワーポイント 第8実習室	新井 李 柏木 原 非常勤講師	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-カ~コ
21・22回 6/28(水) ③④	インプラント 上部構造	1. インプラント上部構造の製作過程を説明できる。	講義 パワーポイント 第4講義室	原	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-カ~コ
23・24回 7/5(水) ③④	インプラント 臨床解剖	1. インプラント治療に関する臨床解剖を説明できる。	講義 パワーポイント 第4講義室	柏木	E-3-4)-(3)-① ~③ ----- 各論V-8-ク

口腔インプラント学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
25・26回 7/12(水) ③④	メンテナンス	1. 患者指導の項目を説明できる。 2. 歯周炎とインプラント周囲炎との病態の比較を説明できる。 3. 治療におけるトラブルの対応法を説明できる。 4. 中間テスト	講義 パワーポイント 第4講義室	原	E-3-4)-(3)-④ ----- 各論V-8-7-ツ
27・28・29回 8/30(水) ③④⑤	インプラント 治療総論	1. インプラント学を理解し説明できる。	ワークショップ パワーポイント 第4大講義室 第8実習室	柏木	E-3-4)-(1)-(3) ----- 総論X-1-7-I
9/20(水) ③	科目試験		第4-6小講義室		-----

再試験日程

12/12(金) ③	科目再試験	第1,2小講義室		
---------------	-------	----------	--	--

口腔外科学 2

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第 4 学年		
授業科目名	口腔外科学 2				
科目責任者	中嶋 正博（口腔外科学第二講座）				
科目分担者	大西 祐一、窪 寛仁、舘庭 秀也、吉本 仁（口腔外科学第二講座）、栗田 賢一（客員教授）				
単 位	2 単位	授業コマ数	29	試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	口腔・顎顔面の疾患（先天異常、後天異常、腫瘍および類似疾患、咀嚼筋・顎関節疾患、神経疾患、血液疾患）の特徴と病因および診断・治療法の基本概念を理解すると共に、口腔外科手術の基本手技を身につける。				

評価法 (EV)	定期試験、出席状況、授業および実習態度、レポートなどを総合的に判断する。
----------	--------------------------------------

オフィスアワー	[楠葉]講義のある日 口腔外科学第二講座研究室 ※天満橋学舎での質問は随時受け付けますので、内線4443に連絡の上、直接、医局に来てください(講義担当者が不在の際は、代わりの者が質問を受けます)。
---------	---

教科書	書 名	著者名 等	発 行 所
		シンプルテキスト 口腔外科の疾患と治療	栗田賢一、覚道健治 編集
参考図書	口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦 編集	医歯薬出版株式会社

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SB0s)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1 回 2017/ 4/14(金) ①	先天異常①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天異常を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	中嶋	E-2-4)-(1)-① ----- 必修14-7-b 総論VI-11-7 各論IV-1-7~k
2 回 4/14(金) ②	先天異常②	口唇・口蓋裂の治療体系を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	栗田 (客員教授)	E-2-4)-(1)-② ----- 各論IV-1-7, k
3 回 4/21(金) ①	先天異常③	口唇・口蓋裂の手術術式を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	中嶋	E-2-4)-(1)-② ----- 各論IV-1-k
4 回 4/21(金) ②	発育異常①	顎変形症の特徴を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	中嶋	E-2-4)-(1)-③ ----- 必修14-4-h 各論IV-7-7, i, o
5 回 4/28(金) ①	発育異常②	顎変形症の診断法および治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	中嶋	E-2-4)-(1)-③ ----- 各論IV-7-7, i, o
6 回 4/28(金) ②	腫瘍①	1. 腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 2. 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑦ ----- 必修14-7-g 必修14-4-i 総論VI-7-7~k 総論VI-11-k
7 回 5/12(金) ①	腫瘍②	歯原性腫瘍の特徴を説明できる。	講義 PC、黒板 第 4 大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑤ ----- 各論IV-5-7 各論IV-11-7, i, o, k, c

口腔外科学 2

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
8回 5/12(金) ②	腫瘍③	歯原性腫瘍の治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑤ ----- 各論IV-5-7 各論IV-11-7,イ,オ, キ,コ
9回 5/19(金) ①	腫瘍④	非歯原性良性腫瘍の種類と特徴および治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉本	E-2-4)-(5)-⑥ ----- 各論IV-5-イ 各論IV-11-ウ 各論IV-12-ク,ツ,テ 各論VI-6-ウ 各論VI-11-イ,エ
10回 5/19(金) ②	腫瘍⑤	前癌病変および腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	吉本	E-2-4)-(5)-⑧ ~⑪ ----- 各論IV-5-セ,リ,タ 各論IV-12-ツ 各論VI-6-7,イ
11回 5/26(金) ①	腫瘍⑥	口腔・顎顔面の悪性腫瘍の種類および治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑬ ----- 必修14-7-g 必修14-イ-i 総論VI-7-7~ケ 総論VI-11-キ
12回 6/2(金) ①	腫瘍⑦	口腔癌の特徴を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑫,⑬ ----- 各論IV-5-ウ~ス 各論IV-12-チ 各論VI-6-エ~コ
13回 6/2(金) ②	腫瘍⑧	口腔癌の治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑫ ----- 各論IV-5-タ-a~d 各論IV-11-コ
14回 6/9(金) ①	腫瘍⑨	口腔癌の手術術式を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑫ ----- 各論IV-5-タ-a~d 各論IV-11-コ 各論IV-12-サ
15回 6/9(金) ②	腫瘍⑩	悪性腫瘍の転移のメカニズムを説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-2-4)-(5)-⑪ ----- 必修14-7-g 必修14-イ-i 総論VI-7-7~ケ 総論VI-11-キ
16回 6/16(金) ①	神経性疾患 ①	1.末梢神経疾患の種類と病因を説明できる。 2.神経痛および他の疼痛性疾患を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	舘庭	E-2-8)-①~④ ----- 各論IV-13-7,イ, キ~セ 各論VI-10-イ,ウ
17回 6/16(金) ②	神経性疾患 ②	神経麻痺および神経痙攣を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	舘庭	E-2-8)-①~④ ----- 各論IV-13-7,イ, キ~セ 各論IV-10-イ,ウ

口腔外科学 2

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
18回 6/23(金) ①	血液疾患①	口腔・顎顔面に症状を現す血液疾患を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	中嶋	E-2-4)-(9)-① ----- 各論IV-16-ウ,エ ~キ 各論VI-6-カ 各論VI-7-キ,ク
19回 6/23(金) ②	血液疾患②	口腔・顎顔面に症状を現す血液疾患のスクリーニング検査を列挙する。	講義 PC、黒板 第4大講義室	中嶋	E-2-4)-(9)-① ----- 総論IX-3-ウ 各論IV-16-ウ~キ
20回 6/30(金) ①	顎関節・ 咀嚼筋疾患 ①	1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎間接疾患の種類と特徴を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	窪	E-2-4)-(6)-①, ② ----- 総論VI-11-オ 総論VII-2-カ 各論IV-7-ウ 各論IV-14-7~ス 各論VI-12-7~エ
21回 6/30(金) ②	顎関節・ 咀嚼筋疾患 ②	顎関節症の診断と治療法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	窪	E-2-4)-(6)-①, ② ----- 各論IV-14-サ
22回 7/7(金) ①	顎関節・ 咀嚼筋疾患 ③	1. 顎関節疾患（脱臼・炎症・変形性顎関節炎・顎関節強直症）を説明できる。 2. 咀嚼筋疾患（咀嚼筋腱膜過形成症など）を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	窪	E-2-4)-(6)-①, ② ----- 各論IV-14-7~ス
23回 7/7(金) ②	口腔顎顔面 の機能障害	1. 嚥下障害を説明できる。 2. 言語障害を説明できる。 3. 味覚障害を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	窪	E-2-4)-(10)-② ----- ~⑤ 各論IV-1-ク 各論IV-16-ケ,コ 各論VI-10-キ 各論VI-15-ウ
24回 7/14(金) ①	臨床推論	1. 基本的診療知識にもとづき、情報を収集・分析ができる。 2. 情報をもとに、問題点の抽出ができる。 3. 鑑別診断を推測できる。 4. 診断を推測できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	中嶋	E-1-1)⑪⑫ ----- 必須11-ア 総論X-ア
25回 7/14(金) ②	口腔・顔面の 手術総論	1. 消毒法の概念を説明できる。 2. 手術器械および材料の滅菌を説明できる。 3. 術者の手指の消毒を説明できる。 4. 手術野の消毒を説明できる。 5. スタンダードプリコーションを説明できる。 6. 切開法を説明できる。 7. 止血法を説明できる。 8. 縫合法を説明できる。 9. 注射法を説明できる。	講義 PC、黒板 第4大講義室	大西	E-1-4)-①~⑨ ----- 必修4-ウ 必修15-ケ-a~d 必修15-サ-a~c 必修15-ソ 総論X-5-7~ケ 各論X-5-マ
26回 8/25(金) ①	顎・口腔疾患 の病態鑑別 診断①	歯原性腫瘍の鑑別診断を行う。	実習 病理標本、 X線写真 第4実習室	科目分担者 全員	E-1-1)⑪⑫ ----- 各論IV-11-7

口腔外科学 2

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
27回 8/25(金) ②	顎・口腔疾患 の病態鑑別 診断②	口腔癌の鑑別診断を行う。	実習 病理標本、 X線写真 第4実習室	科目分担者 全員	E-1-4)⑪⑫ ----- 各論IV-5
28回 9/1(金) ①	消毒・滅菌・ 切開・縫合 ①	1. 術者の手指の消毒を実施する。 2. 清潔な手術用グローブの装着操作を実施する。 3. 切開・縫合・止血の基本操作を行う。	実習 第7実習室	科目分担者 全員	E-1-4)⑤⑥ F-6③⑦ ----- 総論X-5
29回 9/1(金) ②	消毒・滅菌・ 切開・縫合 ②	1. 術者の手指の消毒を実施する。 2. 清潔な手術用グローブの装着操作を実施する。 3. 切開・縫合・止血の基本操作を行う。	実習 第7実習室	科目分担者 全員	E-1-4)⑤⑥ F-6③⑦ ----- 総論X-5
9/13(水) ③	科目試験		第1-3小講義室		-----
再試験日程					
12/8(金) ③	科目再試験		第1,2小講義室		

歯科麻酔学

コース名	7臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	歯科麻酔学				
科目責任者	百田 義弘（歯科麻酔学講座）				
科目分担者	百田 義弘、佐久間 泰司、加藤 裕彦、大郷 英里奈、大下 修弘（歯科麻酔学講座）				
単 位	3単位	授業コマ数	44	試験コマ数	1
一般目標 (G10)	各種の麻酔法、鎮静法および周術期の患者管理を理解するとともに、心肺蘇生法や疼痛管理法の実際について学習する。				
評価法 (EV)	単位認定試験 80%、レポート提出 10%、授業への出席 10%				

オフィスアワー	講義終了後（16時35分）～17時30分に講義担当者が在室しているので、1号館5階の講座研究室を訪ねること。 上記曜日・時間以外の質問は電話で予約すること。 電話：06-6910-1031（講座補助員 綿谷） ※電話は火、木、金曜日9時～15時にかけること。
---------	--

教科書	書 名	著者名 等	発 行 所
	スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版	小谷順一郎	学建書院
参考図書	歯科麻酔学第7版	福島和昭	医歯薬出版
	Miller's Anesthesia in 2 vols 8ed	Miller	CHURCHILL LIVINGSTONE
	口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック	日本口腔顔面痛学会	医歯薬出版

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1回 2017/ 4/14(金) ③	概論	1. 麻酔の概念を説明できる。 2. 麻酔の歴史を説明できる。 3. 麻酔の種類を説明できる。 4. 歯科麻酔の特徴を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(4)-① ----- 必修15-7-c 必修17-7, 1
2回 4/14(金) ④	麻酔に必要な基礎知識 ①	1. 気道系の構造と機能を説明できる。 2. 肺の構造と機能（内呼吸、外呼吸を含む）を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	C-2-3)-(7)-①, ② ----- 総論Ⅲ-2-ウ
3回 4/14(金) ⑤	麻酔に必要な基礎知識 ②	1. 循環器系の構造と機能（心臓、肺循環と体循環、血管、血圧の調節機構）を説明できる。 2. 内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	C-2-3)-(3)-① C-2-3)-(8)-① ----- 総論Ⅲ-2-エ 総論Ⅲ-2-キ, ケ
4回 4/21(金) ③	術前管理①	1. 患者の全身状態評価を説明できる。 2. 臨床検査が説明できる。 3. 必要に応じて医科に対診できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-1)-(16) E-1-3)-(1)-⑨ E-4-6)-(3) ----- 総論Ⅶ-1-7 総論Ⅸ-4-7～エ, カ, ケ 総論Ⅹ-6-キ 各論Ⅳ-19-1

歯科麻酔学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
5回 4/21(金) ④	術前管理②	1. 手術危険度が説明できる。 2. 管理方法の選択が説明できる。 3. 患者の服用薬物と歯科治療(または麻酔)の関連について説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(1)-⑦ E-1-3)-(1)-⑨ ----- 総論X-6-キ 各論IV-19-イ
6回 4/21(金) ⑤	術前管理③	1. 術前処置が説明できる。 2. 麻酔前投薬が説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(1)-⑨ ----- 総論X-6-キ 各論IV-19-イ
7回 4/28(金) ③	管理上問題 となる疾患 ①	麻酔管理上問題となる循環器疾患を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(1)-⑥ E-4-3)-③ E-4-6)-①, ② ----- 各論IV-17-イ 各論VI-13-7
8回 4/28(金) ④	管理上問題 となる疾患 ②	麻酔管理上問題となる呼吸器疾患を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-4-6)-①, ② E-4-3)-③ ----- 各論IV-17-7 各論VI-13-ウ
9回 4/28(金) ⑤	管理上問題 となる疾患 ③	1. 麻酔管理上問題となる神経、内分泌、肝、腎疾患を説明できる。 2. 妊婦、授乳婦の歯科治療(または麻酔)時の注意点を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(1)-⑧ E-4-3)-③ E-4-6)-①, ②, ④ ----- 総論VIII-4-7, オ 各論IV-17-オ, ク, ケ, ケ
10回 5/12(金) ③	全身麻酔法 ①	1. 全身麻酔の目的と種類を説明できる。 2. 麻酔深度を説明できる。 3. 吸入麻酔法、吸入麻酔薬を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 必修15-3-b 総論X-6-ウ, エ
11回 5/12(金) ④	全身麻酔法 ②	1. 麻酔器や麻酔に必要な器具を説明できる。 2. 気道確保方法(気管挿管、LMAなど)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 総論X-6-ウ
12回 5/12(金) ⑤	全身麻酔法 ③	静脈麻酔法(静脈麻酔薬、オピオイド)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 必修15-3-b 総論X-6-ウ, エ 総論X-9-サ
13回 5/19(金) ③	全身麻酔法 ④	1. 低血圧麻酔を説明できる。 2. 低体温麻酔を説明できる。 3. 筋弛緩薬(種類、作用機序)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 総論X-6-オ
14回 5/19(金) ④	全身麻酔法 ⑤	1. 筋弛緩薬の拮抗薬を説明できる。 2. 口腔外科手術の麻酔を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 総論X-6-オ
15回 5/19(金) ⑤	心電図	代表的な不整脈の波形を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	C-2-3)-(3)-① ----- 総論IX-4-イ

歯科麻酔学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標(SBOs)	学習方略(LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
16回 6/2(金) ③	術中管理①	術中の呼吸管理、循環管理を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	E-1-3)-(4)-③ F-2-1)-①~③ ----- 総論X-6-ク 各論IV-19-ウ
17回 6/2(金) ④	術中管理②	1. 術中の輸液を説明できる。 2. 術中の輸血を説明できる。 3. 術中のモニタリングを説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	E-1-3)-(4)-③ F-2-1)-①~③ ----- 総論X-6-ク 総論X-10-サ, シ 各論IV-19-ウ
18回 6/2(金) ⑤	術後管理 歯科の日帰り全身麻酔	1. 術後管理を説明できる。 2. 日帰り全身麻酔を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大下	E-1-3)-(4)-① ~③ ----- 総論X-6-ク 各論IV-19-エ
19回 6/9(金) ③	救急救命 処置①	一次救命処置(意識レベル、呼吸、脈拍の把握、気道確保方法、呼吸吹込み、誤飲・誤嚥の対応、胸骨圧迫、AED)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	佐久間	E-1-5)-②~⑤ ----- 必修13-イ-a 総論X3-7, イ, ウ, カ
20回 6/9(金) ④	救急救命 処置②	二次救命処置(使用薬剤とその作用機序を含む)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	佐久間	E-1-5)-⑥ ----- 総論X-3-エ, オ
21回 6/9(金) ⑤	救急救命 処置③	ショックの成因と種類を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	佐久間	C-4-3)-⑦ ----- 総論VII-1-7
22回 6/16(金) ③	救急蘇生法 実習1	一次救命処置(意識レベル、呼吸、脈拍の把握、気道確保方法、呼吸吹込み、誤飲・誤嚥の対応、胸骨圧迫、AED)ができる。	実習 PC, 黒板 大会議室	科目分担者 全員	E-1-5)-②~⑤ ----- 必修13-イ-a
23回 6/16(金) ④	救急蘇生法 実習2	一次救命処置(意識レベル、呼吸、脈拍の把握、気道確保方法、呼吸吹込み、誤飲・誤嚥の対応、胸骨圧迫、AED)ができる。	実習 PC, 黒板 大会議室	科目分担者 全員	E-1-5)-②~⑤ ----- 必修13-イ-a
24回 6/16(金) ⑤	救急蘇生法 実習3	一次救命処置(意識レベル、呼吸、脈拍の把握、気道確保方法、呼吸吹込み、誤飲・誤嚥の対応、胸骨圧迫、AED)ができる。	実習 PC, 黒板 大会議室	科目分担者 全員	E-1-5)-②~⑤ ----- 必修13-イ-a
25回 6/23(金) ③	心身障害者の麻酔	1. 障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 2. 障がい者の行動調整と歯科治療(または麻酔)時の注意点を説明できる。 3. 障がい者の周術期管理を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-4-4)-①, ② ----- 総論VIII-3-7, イ, オ
26回 6/23(金) ④	小児の麻酔	1. 小児の特徴と評価法を説明できる。 2. 小児歯科治療(または麻酔)時の注意点を説明できる。 3. 小児の代表的な疾患を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(1)-⑧ E-4-2)-① E-4-6)-⑤ ----- 各論IV-17-サ, シ
27回 6/23(金) ⑤	高齢者の麻酔	1. 老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 2. 高齢者の周術期管理を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-4-3)-①, ③, ⑥ ----- 各論IV-17-ス

歯科麻酔学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
28回 6/30(金) ③	精神鎮静法 ①	1. 精神鎮静法の目的と種類を説明できる。 2. 吸入鎮静法の適応、禁忌、使用薬物を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(2)-①, ② ----- 必修15-コ-c 総論X-6-ケ
29回 6/30(金) ④	精神鎮静法 ②	静脈内鎮静法の適応、禁忌、使用薬物を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(2)-③ ----- 必修15-コ-c 総論X-6-ケ
30回 6/30(金) ⑤	精神鎮静法 ③	精神鎮静法の周術期管理を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	加藤	E-1-3)-(2)-④ ----- 必修15-コ-c 総論X-6-ケ
31回 7/7(金) ③	局所麻酔法 ①	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔薬を分類し、作用機序を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(3)-①, ② ----- 必修15-コ-a 総論X-6-7, イ
32回 7/7(金) ④	局所麻酔法 ②	1. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 2. 血管収縮薬の目的と種類、特徴および使用上の注意を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(3)-③, ④ ----- 必修15-コ-a 総論X-6-7, イ
33回 7/7(金) ⑤	局所麻酔法 ③	1. 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 2. 局所麻酔時の合併症(偶発症)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(3)-⑤, ⑥ ----- 必修15-コ-a 総論X-6-7, イ
34回 7/14(金) ③	ペインクリ ニック①	1. 疼痛の種類(関連痛を含む)を説明できる。 2. 疼痛の発生機序を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	C-4-6)-①, ② ----- 総論VI-8-7~E
35回 7/14(金) ④	ペインクリ ニック②	1. 顎顔面口腔の痛みの分類を説明できる。 2. 代表的な疼痛疾患を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	C-4-6)-①, ② ----- 総論VI-8-7~E 各論IV-13-7~セ
36回 7/14(金) ⑤	ペインクリ ニック③	1. 痙攣性疾患、麻痺性疾患を説明できる。 2. 神経ブロック療法を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	C-4-6)-①, ② ----- 総論VI-8-7~E
37回 8/25(金) ③	歯科治療における全身 的偶発症①	バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、 体温)を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(1)-① ~⑤ E-1-5)-① E-4-6)-③ F-2-1)-①~③ ----- 必修10-オ-c 総論VII-1-7
38回 8/25(金) ④	歯科治療における全身 的偶発症②	偶発症とその対応を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-5)-① ----- 総論VII-1-7 総論X-6-コ 各論IV-18-7~ケ
39回 8/25(金) ⑤	歯科治療における全身 的偶発症③	救急薬品の使い方を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-5)-① ----- 総論X-6-コ
40回 9/1(金) ③	心因性疾患 ①	1. 心身相関を説明できる。 2. 歯科心身症を説明できる。 3. 頭蓋顎顔面領域の心因性の痛みを説明 できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	E-4-5)-①~③ ----- 総論VI-8-ウ

歯科麻酔学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
41回 9/1(金) ④	心因性疾患 ②	1. 心理テストを説明できる。 2. 舌痛症を説明できる。 3. 歯科恐怖症を説明できる。 4. 心身医学的治療を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	E-4-5)-(4)~⑦ ----- 総論VI-8-ウ
42回 9/1(金) ⑤	呼吸生理	呼吸の調節、ガス交換、酸素の運搬を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	大郷	C-2-3)-(7)-①, ② ----- 総論III-2-ウ
43回 9/8(金) ③	総まとめ	全身麻酔の流れ、口腔外科手術の周術期管理を説明できる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(1)-⑨ E-1-5)-(①)~⑥ ----- 必修10-オ-c 必修13-イ-a 総論VII-1-7
44回 9/8(金) ④	総まとめ	歯科麻酔学に関する国家試験過去問題を解くことができる。	講義 PC, 黒板 第4大講義室	百田	E-1-3)-(1)-⑨ E-1-5)-(①)~⑥ ----- 必修10-オ-c 必修13-イ-a 総論VII-1-7
9/15(金) ④	科目試験		第1-3 小講義室		-----

再試験日程

12/14(木) ③	科目再試験	第1,2 小講義室		-----
---------------	-------	--------------	--	-------

審美歯科学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第 4 学年		
授業科目名	審美歯科学				
科目責任者	末瀬 一彦（歯科審美学室）				
科目分担者					
単 位	0.5 単位	授業コマ数	8	試験コマ数	1
一般目標 (G10)	顎口腔系における形態美、機能美そして色彩美の調和を図り、自然美・個性美を追求し、人々の生活の質 (QOL) の向上に貢献するために、歯科医学における専門各領域の歯科審美に関わる学際的内容の知識・技能、最新の歯科医療における修復治療についてを習得する。				

評価法 (EV)	出席状況、授業態度、試験を総合して行う
----------	---------------------

オフィスアワー	メール：逐次、suese@cc.osaka-dent.ac.jp にご連絡ください。楠葉学舎または天満橋学舎で対応させていただきます。楠葉学舎は 3 号館 3 階 歯科審美学教授室、天満橋学舎は西館 8 階 歯科審美学教授室（歯科衛生士専門学校隣り）です。メールには学年、氏名、質問内容を記載して下さい。
---------	--

	書 名	著者名 等	発 行 所
教科書	CAD/CAM デンタルテクノロジー	末瀬一彦他	医歯薬出版株式会社
	歯科衛生士ベーシックスタンダード 審美歯科	末瀬一彦他	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯の色の話	日本歯科色彩学会	クインテッセンス出版
	セラミック修復の現状	末瀬一彦他	永末書店
	シーシェの審美補綴	岩田健男他	クインテッセンス出版
	最新 審美と接着	安田 登記	クインテッセンス出版

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SB0s)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1・2回 2017/ 9/22 (金) ①②	色彩に 関する審美的 要件	色の基礎的知識と歯科医学における歯科 審美学の役割を説明できる。	講義 PC 第 4 大講義室	末瀬	E-3-3)-(1)-⑤ 各論Ⅴ-1-Ⅰ 各論Ⅲ-2-オ 各論Ⅴ-3-キ
3・4回 9/29 (金) ①②	歯科審美 治療の材料	歯科審美治療に用いる材料の特性につ いて説明できる。	講義 PC 第 4 大講義室	末瀬	D-2-② E-3-3)-(1)-⑦ E-3-4)-(1)-⑥ 総論Ⅺ-1-7 イ 総論Ⅺ-8
5回 10/6 (金) ②	歯科審美 診査	歯科審美における検査・診査機器につ いて説明できる。	講義 PC 第 4 大講義室	末瀬	E-3-3)-(1)⑤~⑧ 各論Ⅲ-3-キ 必修15-ハ 各論Ⅴ-4-7
6・7回 10/13 (金) ①②	歯科審美 治療	歯科審美における治療法・製作法につ いて説明できる。	講義 PC 第 4 大講義室	末瀬	D-1-④ D-2-⑥ D-2-①~③、⑥、⑦ E-3-3)-(1)⑤~⑧ E-3-3)-(1)⑩、⑬ 各論Ⅲ-3-キ 必修15-ハ 各論Ⅴ-4-7

審美歯科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
8回 10/20(金) ①	CAD/CAM テクノロジー	CAD/CAM テクノロジーの構成要素と種類・特徴を説明できる。	講義 PC 第4大講義室	末瀬	D-1-④ ----- 総論XI-11-E -----
12/5(火) ③		科目試験	第1-3小講義室		-----
再試験日程					
12/22(金) ③		科目再試験	第1,2小講義室		

スポーツ医歯学

コース名	7 臨床系歯科医学教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	スポーツ医歯学				
科目責任者	田中昌博（有歯補綴咬合学講座）				
科目分担者	楠本哲次、岡崎全宏（有歯補綴咬合学講座）				
単 位	0.5 単位	授業コマ数	7	試験コマ数	1
一般目標 (G10)	スポーツにおける外傷とその対応、その予防と安全対策、咬合咀嚼機能との関連性、スポーツ選手の顎口腔系の状態とその健康管理など、スポーツを行う人たちへの歯科医学的なサポートができる知識と技能を修得する。				

評価法 (EV)	科目試験（筆記、多肢選択）、出席状況、授業態度などを総合して行う。
----------	-----------------------------------

オフィスアワー	担当：田中昌博 時間：火曜日の午前8時から午前8時45分 場所：教授室（2号館5階） 注意：前週の金曜日までにメール（tanaka-m@cc.osaka-debnt.ac.jp）で連絡してください。
---------	--

教科書	書 名	著者名 等	発 行 所
	要説 スポーツ歯科医学	石上恵一ほか	医学情報社
参考図書	スポーツ歯学の臨床	大山喬史ほか	医学情報社
	入門スポーツデンティスト	竹内正敏ほか	永末書店

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
1回 2017/ 10/20 (金) ②	口腔顎顔面領域のスポーツ外傷	1. 口腔顎顔面領域のスポーツ外傷の特徴と種類を説明できる。 2. 口腔顎顔面領域のスポーツ外傷の診断・治療を説明できる。	講義 PC・板書 第4大講義室	楠本	E-2-4)-(2)-① ~⑦ ----- 各論Ⅰ-5-ク 各論Ⅲ-2-カ 各論Ⅲ-5-オ 各論Ⅲ-6-コ 各論Ⅳ-2-ア~ウ 各論Ⅳ-8-ア~サ
2回 11/10 (金) ①	口腔顎顔面領域のスポーツ外傷	1. スポーツ外傷に対する安全対策の方法を理解し、実践できる。 2. スポーツ現場における救急処置を説明でき、基本的な手技ができる。	講義 PC・板書 第4大講義室	楠本	表記なし ----- 必修13-ア~イ 必修15-サ-a~c 総論Ⅷ1-ア~カ 総論Ⅹ5-ア~E, ク,ケ 各論Ⅰ-5-ク
3回 11/10 (金) ②	口腔健康管理とサポート体制	1. デンタルチェックの目的と意義を説明できる。 2. デンタルチェックの診査、検査項目を説明できる。 3. スポーツ選手の健康管理などについてアドバイスをできる。 4. スポーツ選手の顎口腔機能についてアドバイスをできる。	講義 PC・板書 第4大講義室	楠本	E-2-1)-⑦ ----- 必須6-イ-b 必須10-ア~ケ 必須11-ア~キ 総論Ⅳ3-サ

スポーツ医歯学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
4回 11/17(金) ①	口腔健康 管理と サポート 体制	1. 運動・スポーツと生活習慣病との関わりを説明できる。 2. ドーピング防止プログラムを説明できる。 3. スポーツのための栄養補給の目的と特徴を説明できる。	講義 PC・板書 第4大講義室	楠本	C-5-2)-⑤ ----- 必修3-ケ-d 必修15-ヒ-f 総論Ⅱ12-ウ 総論X9-キ 各論Ⅰ-7-ア~エ
5回 11/17(金) ②	マウス ガードの 目的, 種類, 製作, メンテナ ンス	1. マウスガードの目的, 種類および特徴を理解する。 2. マウスガード用材料の構造と特徴を説明できる。 3. カスタムメイドタイプ・マウスガードの製作に必要な診査, 検査, 前処置および製作過程を説明できる。 4. マウスガードの使用上の注意事項とメンテナンスの重要性を説明できる。	講義 PC・板書 第4大講義室	楠本	表記なし ----- 各論Ⅰ-5-ク
6・7回 11/24(金) ①②	スポーツ 歯学・ 医科学の まとめ	1. スポーツ歯学の概要を説明できる。 2. スポーツデンティストの役割を説明できる。 3. スポーツ医科学サポートの概要を説明できる。	講義 PC・板書 第4大講義室	田中(昌) 岡崎	表記なし ----- 総論Ⅱ1-イ 総論Ⅱ3-キ
12/7(木) ③		科目試験	第1-3小講義室		-----
再試験日程					
12/20(水) ③		科目再試験	第1,2小講義室		

8 総合医学系教育

耳鼻咽喉科学

コース名	8 総合医学系教育	履修学年	第4学年		
授業科目名	耳鼻咽喉科学				
科目責任者	馬場 一泰 (耳鼻科)				
科目分担者					
単 位	0.5単位	授業コマ数	8	試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	歯科口腔外科領域の臨床において関連する耳・鼻副鼻腔・口腔咽頭・喉頭気管食道など隣接領域臓器の構造と機能および疾患の病態生理の理解と対応を学ぶ。				

評価法 (EV)	科目試験、小試験、出席状況などを総合的に判断
----------	------------------------

教科書	書 名	著者名 等	発 行 所
	指定なし		
参考図書	イラスト耳鼻咽喉科	森満保	
	新耳鼻咽喉科科学	切替一郎 野村恭也	
	Step 耳鼻咽喉科		
	new 耳鼻咽喉科・頭頸部外科		

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ 国試出題基準 (ガイドライン)
1回 2017/ 5/24(水) ⑤	耳領域の 解剖・ 生理・疾患	外耳中耳内耳の解剖と機能。聴覚受容と認知機構。聴力検査法。難聴疾患の鑑別と治療。突発性難聴、聴神経腫瘍、慢性中耳炎、耳鳴。前庭器官の解剖と機能。めまい感覚と平衡障害。メニエル病、前庭神経炎、中枢性めまい。感覚障害概説。補聴器・TRT	講義 第4大講義室	馬場	-----
2回 5/24(水) ⑥	耳領域の 解剖・ 生理・疾患	外耳中耳内耳の解剖と機能。聴覚受容と認知機構。聴力検査法。難聴疾患の鑑別と治療。突発性難聴、聴神経腫瘍、慢性中耳炎、耳鳴。前庭器官の解剖と機能。めまい感覚と平衡障害。メニエル病、前庭神経炎、中枢性めまい。感覚障害概説。補聴器・TRT	講義 第4大講義室	馬場	-----
3回 6/14(水) ⑤	鼻・副鼻腔領 域の解剖・生 理・疾患	鼻腔・副鼻腔の発生と解剖。神経と脈管の解剖。鼻閉、鼻出血、鼻汁、嗅覚障害など諸症状の理解。上顎癌、歯性上顎洞疾患、顎顔面奇形と外傷。アレルギー性鼻炎。ナビゲーションシステム・手術ロボットなどの手術支援機器	講義 第4大講義室	馬場	-----
4回 6/14(水) ⑥	鼻・副鼻腔領 域の解剖・生 理・疾患	鼻腔・副鼻腔の発生と解剖。神経と脈管の解剖。鼻閉、鼻出血、鼻汁、嗅覚障害など諸症状の理解。上顎癌、歯性上顎洞疾患、顎顔面奇形と外傷。アレルギー性鼻炎。ナビゲーションシステム・手術ロボットなどの手術支援機器	講義 第4大講義室	馬場	-----

耳鼻咽喉科学

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
5回 6/28(水) ⑤	咽頭・喉頭・ 頭頸部領域 の解剖・生 理・疾患	口腔咽頭の構造と機能的解剖および神経解剖。口腔咽頭の炎症と腫瘍、扁桃炎と病巣感染症。嚥下の機序と嚥下障害。診断法。喉頭の形態と機能、神経支配、診断法と喉頭疾患。音声障害。気管食道の解剖と機能	講義 第4大講義室	馬場	
6回 6/28(水) ⑥	咽頭・喉頭・ 頭頸部領域 の解剖・生 理・疾患	口腔咽頭の構造と機能的解剖および神経解剖。口腔咽頭の炎症と腫瘍、扁桃炎と病巣感染症。嚥下の機序と嚥下障害。診断法。喉頭の形態と機能、神経支配、診断法と喉頭疾患。音声障害。気管食道の解剖と機能	講義 第4大講義室	馬場	
7回 7/12(水) ⑤	鼻・副鼻腔手 術シミュ レーション	鼻・副鼻腔実態モデルを用いた鼻内内視鏡手術トレーニング	講義 第4大講義室	馬場	
8回 8/30(水) ⑥	まとめ	全講義のまとめ	講義 第4大講義室	馬場	
9/14(木) ③		科目試験	第4-6小講義室		

再試験日程

12/13(水) ③		科目再試験	第1、2小講義室		
---------------	--	-------	----------	--	--

眼科学

コース名	1 態度教育	履修学年	第4学年
授業科目名	眼科学		
科目責任者	教務部長、岸本 直子（眼科学）		
科目分担者			
単 位	0.5単位	授業コマ数	7
		試験コマ数	1
一般目標 (GIO)	隣接医学としての眼科学一般の基礎知識を習得する。 特に、口腔や歯科の疾患に関連して発生する眼疾患に関して詳細に学び、歯科臨床に役立つようにする。		

評価法 (EV)	出席・授業態度・科目試験の結果などを総合的に判断する。
----------	-----------------------------

	書 名	著者名 等	発 行 所
参考図書	STEP 眼科	秋山健一、江口弘芳	海馬書房
	標準眼科学	大野重昭	医学書院

授業計画<講義>

回 月日(曜) 時限	テーマ	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ
					国試出題基準 (ガイドライン)
1回 2017/ 9/28(木) ⑤	目の構造と機能、屈折と調節	目の構造と機能を理解して各眼疾患の機序を理解できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
2回 10/5(木) ⑤	眼窩・眼瞼・涙器の疾患	眼窩・眼瞼・涙器の疾患を理解し、口腔外科疾患との関係を理解できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
3回 10/12(木) ⑤	結膜・角膜・強膜・ぶどう膜の疾患	結膜・角膜・強膜・ぶどう膜の疾患を説明できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
4回 10/19(木) ⑤	水晶体の疾患	各種白内障の原因と治療方法を説明できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
5回 10/26(木) ⑤	緑内障	緑内障の特徴と資料を説明できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
6回 11/9(木) ⑤	網膜・硝子体の疾患	眼底出血の原因と治療を説明できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
7回 11/16(木) ⑤	視神経・視路の疾患、神経眼科	視神経・視路の疾患を理解し、視野異常の成り立ちを説明できる。	スライド・プリント 第4大講義室	岸本	-----
12/6(水) ③		科目試験	第1-3小講義室		-----

再試験日程

12/21(木) ④	科目再試験	第1,2小講義室		
---------------	-------	----------	--	--

卷末資料

平成29年度 学生参考図書目録
歯学部 第4学年

(図書館楠葉本館 所蔵)

1. この目録は、各学科目の先生方が、今年度の学生参考図書として学生のために選定された図書を収録したものです。
2. この目録では、図書を各学科目別にまとめて、請求記号順に配列しています。
3. この目録の記載は、書名、著（編）者、出版年、冊数、請求記号の順になっています。なお、視聴覚資料は書名の前に*を付けて図書と区別しています。
4. 学生参考図書は緑色のラベルを貼り、楠葉本館3階の書架（3F-36, 37）に各学科目別にまとめて請求記号順に配架してあります。
視聴覚資料は2階の書架（2F-8）に配架してあります。
5. 学生参考図書の貸出は、歯学部の学生を優先します。

7 臨床系歯科医学教育

歯科矯正学

矯正歯科治療	後藤滋巳ほか	2010	2	L-089.23 G6/3
チェアサイド・ラボサイドの新矯正 装置ビジュアルガイド	後藤滋巳ほか	2016	2	L-089.23 G6/5
矯正歯科技工学	後藤尚昭ほか	2006	2	L-089.23 G11/1
一から学ぶ矯正歯科臨床	桑原洋助ほか	1998	1	L-089.23 K6/4
イラストで覚える歯科矯正学	栗原三郎	2006	2	L-089.23 K15/2
新しい歯科矯正学	新井一仁ほか	2012	2	L-089.23 K18/1
プロフィットの現代歯科矯正学	Proffit, W. R.	2004	1	L-089.23 P3/1
現代外科的矯正治療の理論と実際	菅原準二ほか	2000	3	L-089.23 S32/1
高田の歯科矯正の学び方	高田健治	2010	2	L-089.23 T14/4
矯正装置の製作ガイド	Willison, B. D.	2005	2	L-089.23 W10/1
歯学生のための歯科矯正学	山内和夫ほか	1997	2	L-089.23 Y1/2

小児歯科学

NEW小児科学	清野佳紀ほか	2003	1	G-053.2 S12/1
小児歯科学	高木裕三ほか	2011	2	L-053.2 A4/2
小児歯科学基礎・臨床実習	前田隆秀ほか	2014	1	L-053.2 D6/1
歯科国試パーフェクトマスター 小児歯科学	苅部洋行	2016	1	L-053.2 K6/1
小児歯科技工学	全国歯科技工士教育 協議会	2006	1	L-053.2 K10/1
乳歯列期における外傷歯の診断と治療	高木裕三ほか	2013	1	L-053.2 K16/4
小児歯科学	木村光孝ほか	2014	1	L-053.2 K16/5
小児歯科学 ベーシックテキスト, クリニカルテキスト	新谷誠康	2016	各2	L-053.2 S23/1-1~

障害者歯科学

子どもの摂食・嚥下障害	北住映二ほか	2007	1	G-053.2 K1/1
歯学生のための摂食・嚥下 リハビリテーション学	向井美恵ほか	2008	2	G32 M3/2
障害者歯科ガイドブック	森崎市治郎ほか	1999	1	L-056 M2/1
スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科	日本障害者歯科学会	2017	3	L-056 N3/1
障害者歯科のための行動変容法を知る	大津為夫	1999	1	L-056 O5/1
障害のある方の歯とお口のガイド ブック	長田 豊	2014	1	L-056 O6/1

スタンダード全身管理・歯科麻酔学	小谷順一郎ほか	2017	1	L-089.5 K4/1
高齢者歯科学・口腔リハビリテーション学				
東大がつくった確かな未来視点を 持つための高齢社会の教科書	東京大学高齢社会総合 研究機構	2013	1	362.6 T2/1
老年医学テキスト	日本老年医学会	2008	1	G-053.9 N2/1
健康長寿診療ハンドブック	日本老年医学会	2011	1	G-053.9 N2/3
カラー版老年医学系統講義テキスト	日本老年医学会	2013	1	G-053.9 N2/4
高齢者の肺炎	山谷睦雄	2011	1	G-053.9 Y3/1
PT・OT・STのためのリハビリテーション 栄養	若林秀隆	2015	1	G-083.2 W2/1
疾患別に診る嚥下障害	片桐伯真ほか	2012	1	G32 K4/1
歯学生のための摂食・嚥下 リハビリテーション学	向井美恵ほか	2008	1	G32 M3/2
摂食嚥下リハビリテーション	出江紳一ほか	2016	1	G32 S3/1
知りたいことがすぐわかる高齢者歯科 医療	小谷順一郎ほか	2017	1	L-053.9 K15/1
誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアと 腸管免疫の重要性	上野川修一ほか	2006	1	L-053.9 K17/1
高齢者歯科学	森戸光彦	2017	1	L-053.9 M5/2
老年歯科医学用語辞典	日本老年歯科医学会	2016	1	L-053.9 N5/1
全身的偶発症とリスクマネジメント	大渡凡人	2012	1	L-053.9 O2/2
高齢者歯科診療ガイドブック	下山和弘ほか	2010	1	L-053.9 S12/2
有病者・高齢者歯科治療マニュアル	上田 裕ほか	1996	1	L-053.9 U1/1
高齢者歯科ガイドブック	植松 宏ほか	2003	1	L-053.9 U3/1
局部床義歯補綴学				
パーシャルデンチャーテクニック	五十嵐順正ほか	2012	3	L-089.28 A9/2
スタンダードパーシャルデンチャー 補綴学	藍 稔ほか	2016	3	L-089.28 A9/9
口腔インプラント学				
インプラント治療に役立つ 外科基本手技	河奈裕正ほか	2015	1	H-089 H23/1
歯科放射線学	岡野友宏ほか	2013	1	L-073.75 F1/1
クラウンブリッジ補綴学	矢谷博文ほか	2014	1	L-089.29 H2/2
スタンダード全身管理・歯科麻酔学	小谷順一郎ほか	2017	1	L-089.5 K4/1
インプラントyear book 2017		2017	1	L-089.843 I4/2017

科学的根拠から学ぶインプラント 外科学 ベーシック編, 応用編, 偶発症編	古賀剛人	2003	各1	L-089. 843 K4/1-1~
歯科インプラント治療ガイドブック	永原國央	2015	1	L-089. 843 N9/1
ザ・ペリオドントロジー	和泉雄一ほか	2014	1	L17 I14/1
口腔外科学 2				
新編顎関節症	日本顎関節学会	2013	4	G724 N3/2
口腔科学	飯田順一郎ほか	2013	2	H I1/1
Simple text口腔外科の疾患と治療	栗田賢一ほか	2016	5	H-089 K22/1
口腔外科学	白砂兼光ほか	2010	2	H-089 M9/1
イラストでみる口腔外科手術 1~4	日本口腔外科学会	2010	各2	H-089 N5/1-1~
口腔外科臨床ヒント集	大関 悟ほか	2004	2	H-089 O2/1
起こりうる問題点と解決法	覚道健治ほか	2012	5	L-08 S7/1
歯科におけるくすりの使い方 2015-2018	金子明寛ほか	2014	4	L-085. 7 S11/2015-2018
歯科麻酔学				
ペインクリニック治療指針	日本ペインクリニック 学会治療指針検討 委員会	2016	2	G-009. 7 N4/1
平手先生のモニター心電図講座 ベーシック編	平手裕市	2012	2	G-073. 97 H2/1-1
心電図モニター	谷村伸一	2011	2	G-073. 97 T1/1
口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック	日本口腔顔面痛学会	2016	2	L-009. 7 N3/1
歯科医のための救急処置マニュアル	見崎 徹ほか	2015	2	L-039. 74 M3/1
スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科	日本障害者歯科学会	2017	2	L-056 N3/1
歯科麻酔学・全身管理学	佐久間泰司ほか	2016	2	L-089. 5 K4/2
歯科麻酔学	金子 譲ほか	2011	2	L-089. 5 K7/1
臨床歯科麻酔学	丹羽 均ほか	2011	2	L-089. 5 M7/1
審美歯科学				
歯の色の話	日本歯科色彩学会	1999	3	L-039. 77 N1/2
審美歯科	末瀬一彦ほか	2013	5	L-039. 77 S8/1
歯科審美学	上松博子ほか	2002	3	L-039. 77 U2/1
シーシェの審美補綴	Chiche, G. ほか	1995	3	L-089. 28 C8/2
セラミック修復の現状	末瀬一彦ほか	2006	3	L-089. 28 S39/1

CAD/CAMデンタルテクノロジー	末瀬一彦ほか	2012	5	L-2/-5 S18/1
スポーツ医歯学				
要説スポーツ歯科医学	石上恵一ほか	2015	3	L:796 I1/3
スポーツ歯科臨床マニュアル	日本スポーツ歯科 医学会	2007	5	L:796 N1/1
スポーツ歯学の臨床	大山喬史ほか	1998	4	L:796 O1/1
スポーツ歯学	Ranalli, D.N.	1994	2	L:796 R1/1
入門スポーツデンティスト	竹内正敏ほか	2003	5	L:796 T1/1
実践スポーツデンティスト	竹内正敏ほか	2008	3	L:796 T1/3
わかりやすいスポーツ医科学	天羽敬祐ほか	2002	5	796. 01 A3/1
健康スポーツ科学	浅野勝己ほか	2004	5	796. 01 A4/1
運動生理学	杉 晴夫	2001	3	796. 01 S4/1
8 総合医学系教育				
耳鼻咽喉科学				
のどちんこの話	松矢篤三ほか	2006	1	B315 M1/1
臨床神経解剖学	FitzGerald, M. J. ほか	2013	3	B81 F1/1
耳科手術のための中耳・側頭骨3D解剖 マニュアル	高木 明ほか	2014	2	B85 T1/1
匂いの帝王	Burr, C.	2003	1	C86 B1/1
カラーアトラス耳鼻咽喉科	Bull, T. R.	2005	1	G2 B81/1
新耳鼻咽喉科学	切替一郎	2013	2	G2 K1/1
NEW耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	喜多村 健ほか	2007	2	G2 K29/1
イラスト耳鼻咽喉科	森満 保	2012	5	G2 M8/1
内視鏡下鼻副鼻腔・頭蓋底手術	中川隆之	2014	3	G216 N1/1
Endoscopic sinus surgery	Wormald, P-J.	2013	3	G216 W1/1
嚥下障害の臨床	日本嚥下障害臨床 研究会	2012	1	G32 E7/1-1
嚥下障害診療ガイドライン	日本耳鼻咽喉科学会	2012	2	G32 N1/1
睡眠医学を学ぶために	立花直子ほか	2006	1	G8-00 T1/1
OsiriX画像処理パーフェクトガイド	杉本真樹	2015	2	681. 3. 06 S4/1

眼科学

眼科	江口弘芳	2011	1	M7 E1/1
眼科診療プラクティス 1~32		1992 -'97	各1	M7 G1/1~
標準眼科学	木下 茂ほか	2016	3	M7 S1/1
現代の眼科学	吉田晃敏ほか	2015	3	M7 T1/1